



令和3年度

Shizuoka City Museum of Art ANNUAL REPORT 2021

静岡市美術館年報 No.12

目 次

1. 基本理念・沿革	
1-1 基本理念	3
1-2 沿革	3
1-3 令和3(2021)年度事業一覧	4
2. 展覧会事業	
2-1 キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	6
2-2 没後70年 吉田博展	15
2-3 静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展－素敵な100年人生	24
2-4 ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	32
2-5 平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	38
3. 交流事業(教育普及事業)	
3-1 交流事業	46
1) 鈴木康広 まばたきの葉 未来の待ち合わせ場所 / 2) 参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう！」 / 3) Shizubi シネマアワー / 4) しずびオープンアトリエ / 5) しずびチビッコプログラム / 6) 暦とあそぶワークショップ / 7) プレゼントワークショップ / 8) 夜店市	
3-2 連携事業	53
1) ミュージアム教室・展示解説 / 2) 生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」 / 3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業) / 4) 2020しずおか文化プロジェクト / 5) その他施設との連携	
4. 受託事業等	
4-1 受託事業等	57
1) 「竹久夢二」展 / 2) 静岡市清水文化会館マリナート常設展示「平野富山－清水が生んだ彩色木彫の名匠」	
5. 調査研究・研修受入等	
5-1 調査研究	59
5-2 刊行物等	60
5-3 博物館実習	61
5-4 視察等受入	61
6. 収蔵品・図書等	
6-1 収蔵品・画像貸出	62
6-2 図書等	62
7. 広報活動	
7-1 広報制作物	63
7-2 ウェブサイト	64
7-3 施設広報記録	64
8. 管理運営	
8-1 利用者数	65
8-2 過去展覧会一覧	70
8-3 静岡市美術館運営協議会	73
8-4 組織図・職員名簿	74
8-5 条例・施行規則	75
8-6 施設・建築概要	77

1. 基本理念・沿革

1-1 基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の複合ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念に、展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

美術館ロゴマーク



美術館のロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がり、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と興行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広（アートディレクター /10inc）

1-2 沿革

平成18(2006)年

3月 「静岡市文化振興ビジョン」策定

平成19(2007)年

3月 「(仮称)静岡市立美術館 基本計画」策定

7月4日 「葵タワー」着工

平成20(2008)年

3月 「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

平成21(2009)年

7月8日 美術館内装建築工事着工[内装設計：(株)丹青研究所、内装建築工事：(株)木内建設]

7月16日 静岡市美術館条例制定

11月12日 静岡市美術館条例施行規則制定

平成22(2010)年

3月24日 静岡市が(財)静岡市文化振興財団を指定管理者に指定

4月1日 「葵タワー」オープン

5月1日 静岡市美術館開館・完成記念式典開催

9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施

10月1日 静岡市美術館グランドオープン記念式典開催

10月2日 開館記念展<I> 「ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ」開催(～11月28日)

平成23(2011)年

5月9日 美術館のロゴマークなどヴィジュアル・アイデンティティが世界3大広告賞のひとつ「The One Show 2011」の銀賞を受賞

平成24(2012)年

1月4日 美術館エントランスホールに漆芸作品「東海道五十三次ひとめ図」設置、除幕式開催

平成25(2013)年

9月14日 来館100万人達成記念式典を実施

平成26(2014)年

5月2日 静岡県教育委員会より博物館相当施設に指定

平成27(2015)年

3月20日 静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅱ期指定管理者に指定

5月1日 静岡市美術館開館5周年

平成29(2017)年

8月18日 展覧会観覧者100万人達成

令和元(2019)年

10月10日 来館300万人達成記念式典を実施

令和2(2020)年

4月1日 静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅲ期指定管理者に指定

5月1日 静岡市美術館開館10周年

※過去展覧会一覧は、70～72頁を参照。

1-3 令和3(2021)年度事業一覧

		展覧会	交流事業
令和3年(2021年)	4月	キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート 4月15日-6月6日<開館46日間>	
	5月		9日 プレゼントワークショップvol.33「母の日だ！親子でプレゼントをつくろう」 15日 Shizubiシネマアワー vol.27 ①『フラワーショウ』 16日 同 ②『シェイクスピアの庭』 22日 しずびチビッコプログラム「キューガーデン 英国王室が愛した花々展」
	6月		20日 プレゼントワークショップ vol.34「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」
	7月	没後70年 吉田博展 6月19日-8月29日<開館62日間>	
	8月		5日 しずびオープンアトリエ「別摺(べつずり)」でつくる山のポストカード(～15日) 夜店市※中止 21日 しずびチビッコプログラム「吉田博展」※中止
	9月		
	10月	静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 ～素敵な100年人生 9月14日-11月7日<開館48日間>	2日 参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう!」※延期 23日 しずびチビッコプログラム「グランマ・モーゼス展」 30日 Shizubiシネマアワー vol.28 ①『人生フルーツ』 31日 同 ②『アイリス・アプフェル！94歳のニューヨーカー』
	11月		30日 「鈴木康広 まばたきの葉 未来の待ち合わせ場所」(～12月19日)
	12月		11日 プレゼントワークショップ vol.35「紙版画でクリスマスカードをつくろう！」子ども編 12日 同 大人編 19日 「鈴木康広 まばたきの葉 未来の待ち合わせ場所」アーティストトーク
		ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ 11月20日-1月23日<開館51日間>	
令和4年(2022年)	1月		8日 しずびチビッコプログラム「風景画のはじまり展」 29日 暦とあそぶワークショップ vol.20「節分の準備をしよう！」※中止
	2月	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰 2月5日-3月27日<開館44日間>	12日 しずびオープンアトリエ「縹緗彩色(うんげんさいしき)に挑戦！色鮮やかな文様を描こう」(～3月13日)※中止 23日 暦とあそぶワークショップ vol.21「ひな祭りの準備をしよう！」※中止
	3月		20日 しずびチビッコプログラム「平等院鳳凰堂と浄土院展」※中止

2. 展覧会事業 目次

2-1 キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	6
2-2 没後70年 吉田博展	15
2-3 静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展－素敵な100年人生	24
2-4 ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	32
2-5 平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	38

2. 展覧会事業

2-1 キューガーデン

英国王室が愛した花々

シャーロット王妃とボタニカルアート

会期：4月15日(木)～6月6日(日)

概要：ユネスコ世界遺産に登録されている英国王立植物園「キューガーデン」は、18世紀半ばの開園以来、世界の植物学研究をリードし続け、植物標本のほか20万点以上のボタニカルアート(植物画)を収蔵していることでも知られている。本展は、18-19世紀に描かれたボタニカルアートのほか、キューガーデンの拡張に寄与した国王ジョージ3世の妃シャーロットが愛したウェッジウッドのクイーンズウェアなど約130点の作品を通じて、啓蒙思想を背景とした英国における自然科学の発展やキューガーデンの歴史を紐解いた。

ボタニカルアートは、写真誕生以前は貴重な記録であり、研究資料のひとつだったが、植物学の歴史を培うなかで次第に芸術性を見出されるようになった。会期中には、静岡科学館る・く・る、ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携事業を行い、科学的視点から描かれたボタニカルアートの魅力を、様々な切り口から紹介した。

巡回先：山梨県立美術館、周南市美術博物館、東京都庭園美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、Daiichi-TV

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、プリティッシュ・カウンシル

協力：日本航空

企画協力：株式会社ブレントラスト

観覧料：一般 1,300円(1,100円)

大高生・70歳以上 900円(700円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：12,766人(有料8,688人、無料4,078人、有料率68.06%)

出品点数：180点(参考出品16点を含む)

制作物：

1)チラシ

＜仕様＞紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・数量：A4 90,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：ミルトGAスピリッツ | スノーホワイ ト 135kg

サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,700部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

＜仕様＞190×260mm、181頁



カタログ表紙

カラー図版197点

参考図版(カラー31点、モノクロ11点)

フィオナ・エインズワース「キュー王立植物園の書籍・美術品・文書コレクション」

ポリー・パットナム「シャーロット王妃と啓蒙主義」

大場秀章「歴史のはざまに立つ王室キュー庭園」

ステュアート・デュラント「コラム 啓蒙主義」

森川もなみ「芸術揺籃の場としてのキューガーデン」

関連年表／出品リスト／参考文献

学術監修：大場秀章

翻訳：門田牧子

編集：株式会社ブレントラスト

発行：「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」カタログ制作委員会©2021

発行年：2021年

普及ツール：

1)本展オリジナルミニDMの作成・配布

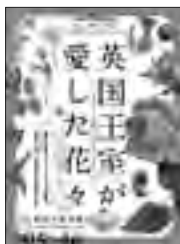
ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

＜仕様＞紙：ミルトGAスピリッツ | スノーホワイト 180kg

サイズ・数量：110×150mm 10,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

2)本展オリジナル缶バッジプレゼントの実施

草花、果物などのボタニカルモチーフ(植物柄)をご提示の方先着200名様にオリジナル缶バッジをプレゼントした。

製作物：

◆缶バッジ

＜仕様＞70×44mm 計4種



3)撮影コーナーの設置

来館者のSNS等での情報発信を期待し、展示室出口に造花によるフラワーウォールを設置した。



各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

主要広報記録：

1) テレビ・ラジオ

- ・「今日開幕 見どころ紹介」静岡第一テレビ『まるごと「撮って出し」コーナー』、4月15日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『県内ニュース』、4月15日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、4月17日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『県内ニュース』、4月18日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『Dstyle』、5月8日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館』、5月13日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『Dstyle』、6月4日放送。



2) 新聞

- ・「英国王室 愛した花々」『読売新聞』静岡版、4月16日。
- ・「細密な植物画130点」『静岡新聞』、4月19日。
- ・「英国王室が愛した植物の細密画」『信濃毎日新聞』、5月25日。

3) 雑誌他

- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『美術展びあ2021(びあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『時空旅人』、3月号増刊。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、4・5月号。
- ・「美術散歩 英国王室が愛した花々」『富士ニュース』、22436号。
- ・「展覧会紹介」『家庭画報』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『グリーン情報』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『園芸ガイド』、2021夏・特大号。
- ・「展覧会紹介」『NHKテキスト 趣味の園芸』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、5月号。



4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Fashion Press」,「OBIKAKE」,「アートアジェンダ」,「インターネットミュージアム」,「アットエス」,「花と緑のwebマガジン『ガーデンストーリー』」,「LOVEGREEN」,「静岡信用金庫LINE配信」,「ウェブ版「美術手帖」」,「静岡県子ども未来局公式Twitter、公式Instagramアカウント」



関連事業：

1) 講演会「植物を愛し、キューでの日々を愉しんだ王妃シャーロット」

概要：本展学術監修者で東京大学名誉教授の大場秀章氏を講師に招き、キューガーデンの歴史を豊富な画像資料とともに紹介いただいた。植物園誕生の時代背景や王室との関係だけでなく、キューの研究機関としての役割についても深く理解することができ、植物学の専門家ならではの講演となった。直前に東京都で非常事態宣言が再発令されたが、万全の対策をとって実施した。

日時：4月25日(日)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：57人

講師：大場秀章氏(東京大学名誉教授・本展学術監修者)



2) 当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①5月1日(土) ②5月29日(土)

いずれも14:00-

会場：多目的室 参加者数：計102人

参加料：無料



3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

科学教室「研究者と学ぼう！植物の仲間わけ」

※55頁を参照。

4) ふじのくに連携

ボタニカルアート講座(水彩)

※56頁を参照。

出品作品リスト

プロローグ

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
1	1	作者不詳／バジリウス・ベスラーの委託による	カーネーション(ナデシコ科)、3つの栽培品種 Ⅰ. 八重咲き、白色花 Ⅱ. 八重咲き弁片細裂、濃赤色花 Ⅲ. 八重咲き、紅紫色花	『アイヒシュテット 庭園植物誌』	おそらく17世紀 (初版1613)	銅版、手彩色、紙	RBGKew
2	2		白花のバラと黄花のクローバー Ⅰ. 八重咲きのダマスクバラ(バラ科) Ⅱ. 白花のコミヤマカタバミ(カタバミ科) Ⅲ. 黄花のカタバミ(カタバミ科)		おそらく17世紀 (初版1613)	銅版、手彩色、紙	RBGKew
3	3	シモン・ピータース・ヴェレルスト	チャボリンドウ(リンドウ科)		17世紀後半	水彩、紙	RBGKew

1. 英国王室と共に歩んだ植物画

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
4	4	ゲオルク・ディオニシウス・エーレット	チューリップ属の栽培品種「Bisard Adelaar」(ユリ科)		1740年	水彩、紙	RBGKew
5	5		マロニエ(セイヨウトチノキ)(ムクロジ科)		18世紀中頃	水彩、紙	RBGKew
6	6		ダイオウマツ(マツ科)		18世紀中頃	水彩、紙	RBGKew
7	7	フランツ・アンドレアス・パウアー	ゴクラクチョウカ(ストレリチア・レギネ)(ゴクラクチョウカ科)		1818年	石版、手彩色、紙	RBGKew
8	8		ストレリチア・アルバ[原題 ストレリチア・オーガスタ](ゴクラクチョウカ科)		1818年	石版、手彩色、紙	RBGKew
9	9		ストレリチア・アルバ[原題 ストレリチア・オーガスタ](ゴクラクチョウカ科)		1818年	石版、手彩色、紙	RBGKew
10	10	アレクサンダー・フォン・フンボルト	トリコケロス・アンテナフェール[原題 エピデンドルム・アンテナフェルム](ラン科)		1802年	墨、紙	RBGKew
11	11ー左 ー中央 ー右	フレデリック・ボールド・ノッダー	シャジクソウ属の一種(マメ科)	『フローラ・ルスティカ』	1792年	銅版、紙	個人蔵
			シロツメクサ(マメ科)				
			ヒロハノレンリソウ(マメ科)				
12	12ー左 ー中央 ー右		サクラソウ属の一種(サクラソウ科)		1792年	銅版、紙	個人蔵
			シロガラシ(アブラナ科)				
			ヤクヨウサフラン(アヤメ科)				
13	13ー左 ー中央 ー右		フランスギク(キク科)		1794年	銅版、紙	個人蔵
			ヤグルマギク(キク科)				
			トウモロコシマリーゴールド(キク科)				
14	14ー左 ー中央 ー右		セイヨウノコギリソウ(キク科)		1794年	銅版、紙	個人蔵
			アマ(アマ科)				
			アメリカオニアザミ(キク科)				
15	15ー左 ー中央 ー右		シベナガムラサキ(ムラサキ科)		1794年	銅版、紙	個人蔵
			ジャガイモ(ナス科)				
			チコリー(キクニガナ)(キク科)				
16	16	ラムゼイ・リチャード・ライナグル	スワンブリリー(ユリ科)	『フローラの神殿』	1799年	銅版、紙	個人蔵
17	17	ラムゼイ・リチャード・ライナグル／エイブラハム・ベザー	セレニケレウス・グランディフォルス(大輪柱)(サボテン科)		1800年	銅版、紙	個人蔵
18	18	ピーター・ヘンダーソン	ニワシロユリ(ユリ科)		1800年	銅版、紙	個人蔵
19	19		ゲットウ(ショウガ科)		1801年	銅版、紙	個人蔵
20	20		カタクリモドキ(サクラソウ科)		1801年	銅版、紙	個人蔵
21	21	シデナム・ティースト・エドワーズ	ヒヤシンス(キジカクシ科)		1801年	銅版、紙	個人蔵
22	22	ピーター・ヘンダーソン	ロードデンドロン・ボンティクム(ツツジ科)		1802年	銅版、紙	個人蔵
23	23		オオミノトケイソウ(トケイソウ科)		1802年	銅版、紙	個人蔵
24	24		カーネーション類(ナデシコ科)		1803年	銅版、紙	個人蔵
25	25	エイブラハム・ベザー	シクラメン(サクラソウ科)		1804年	銅版、紙	個人蔵
26	26		マツユキノソウ(ヒガンバナ科)とクロッカス		1804年	銅版、紙	個人蔵
27	27	ピーター・ヘンダーソン	ハス(ハス科)		1804年	銅版、紙	個人蔵
28	28	アン・リー	モスローズ(ローザ・ケンティフォリアの栽培品種)		1770年代	赤チョーク、紙	RBGKew
29	29	シデナム・ティースト・エドワーズ	カカヤンバラ(バラ科)		1811年頃	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
30	30	トマス・ハーヴェイ夫人	ローザ・ケンティフォリア(キャベツローズ)とローザ・ガリカ(フレンチローズ)の栽培品種(バラ科)		1800年	水彩、紙	RBGKew
31	31	ジョン・カーティス	ハマナス(バラ科)		1832年頃	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
32	32	ウォルター・フッド・フィッチ	ローザ・アマビリスの栽培品種(バラ科)		1852年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
33	33	マチルダ・スミス	イザヨイバラ(バラ科)		1881年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
34	34	マチルダ・スミス	イザヨイバラ(バラ科)		1899年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew

- ・図録番号101ーa、103ーa、128、130、133は未出品。
- ・図録番号107は欠番。
- ・書誌情報のCBMは「カーティス・ボタニカル・マガジン」の略称。
- ・所蔵のRBGKewはキュー王立植物園の略称。
- ・本リストの作品番号は図録番号と枝番表記など一部異なる。また、書誌情報など一部図録から編集を加えている。

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
35	35	—	キストゥス(キスツス)・インカヌス(ハンニチバナ科)		1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
36	36	—	モスローズ(バラ科)		1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
37	37	—	ロサ・フェティダ(バラ科)		1797年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
38	38	—	ブロヴィンキアローズの栽培品種(バラ科)		1798年	銅版、手彩色、紙	個人蔵

2.シャーロット王妃がつないだ文化の開花

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
39	39	ウェッジウッド	カメオ・ブローチ「シャーロット王妃」		20世紀	ジャスパーウェア(炆器)	個人蔵
40	40		ティーポット(クイーンズウェア)		1765－1770年	クリームウェア(陶器)	個人蔵
41	41		蓋付き深皿(クイーンズウェア)		1765－1770年	クリームウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
42	42-a		編み籠皿と受け皿(クイーンズウェア)		1778年頃	クリームウェア(陶器)	個人蔵
43	—b		編み籠皿(クイーンズウェア)		1815年頃	クリームウェア(陶器)	個人蔵
44	43-a	—	コーヒーポット(クイーンズウェア)		1770年頃	クリームウェア(陶器)、銅版転写	個人蔵
45	—b		ティーキャディー(クイーンズウェア)		1780年頃	クリームウェア(陶器)、銅版転写	個人蔵
46	44-a		平皿(クイーンズウェア)		1780年頃	クリームウェア(陶器)、銅版転写	個人蔵
47	—b		平皿(クイーンズウェア)		1780年頃	クリームウェア(陶器)、銅版転写	個人蔵
48	45		コーヒーポット(クイーンズウェア)		1780年頃	アースンウェア(陶器)	個人蔵
49	46		狩猟肉パイの鉢		19世紀初頭	ケーンウェア(炆器)	個人蔵
50	47		蓋付き鉢、玉杓子(クイーンズウェア)		1800年頃	クリームウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
51	48-a		脚付き盛り皿(クイーンズウェア)		1800年頃	クリームウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
52	—b		平皿(クイーンズウェア)		1800年頃	クリームウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
53	—c		蓋付き鉢、受け皿、玉杓子(クイーンズウェア)		1800年頃	クリームウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
54	—d		皿(クイーンズウェア)		1800年頃	クリームウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
55	—e		皿(クイーンズウェア)		1800年頃	クリームウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
56	49	エラスマス・ダーウィン著	ポートランドの壺		19世紀(1790年頃完成)	ジャスパーウェア(炆器)	個人蔵
57	50		『植物の園』(ウィリアム・ブレイクによる挿図「ポートランドの壺」)		1791－1794年	書籍	個人蔵
58	51		花器		1810年頃	ジャスパーウェア(炆器)	個人蔵
59	52		花器		1800年頃	ジャスパーウェア(炆器)	個人蔵
60	53		花器		1800年頃	ジャスパーウェア(炆器)	個人蔵
61	54	—	平皿「ウォーター・リリー」(ダーウィン・サービスより)		1808－1811年	アースンウェア(陶器)、エナメル彩	個人蔵
62	55-a		平皿「ジャバン文様」		1810年頃	アースンウェア(陶器)、銅版転写、エナメル彩	個人蔵
63	—b		ティーカップ&ソーサー「ジャバン文様」		1810年頃	アースンウェア(陶器)、銅版転写、エナメル彩	個人蔵
64	—c		コーヒーカップ&ソーサー「ジャバン文様」		1810年頃	アースンウェア(陶器)、銅版転写、エナメル彩	個人蔵
65	56	ウースター	ティーカップ&ソーサー「ロイヤル・リリー」		1780年頃	磁器、エナメル彩	個人蔵
66	57		ティーカップ&ソーサー「クイーン・シャーロット・パターン」		1780年頃	磁器、エナメル彩	個人蔵
67	58	—	ジョージアン様式の椅子		1775年頃	木	個人蔵
68	59	—	ジョージアン様式の折りたたみ式机		1790年頃	木	個人蔵
69	60	—	ジョージアン様式の読書台		1800年頃	木	個人蔵
70	61	—	ジョージアン様式の給仕テーブル		1800年頃	木	個人蔵
71	62	リープス社	水彩道具箱		1820年頃	木	個人蔵
72	63		燭台		1770年頃	シェフィールド・プレート(銀メッキ銅板)	個人蔵
73	64	マシュー・ボルトン	燭台		1800年頃	シェフィールド・プレート(銀メッキ銅板)	個人蔵
74	65		バスケット		1815年頃	シェフィールド・プレート(銀メッキ銅板)	個人蔵
75	66	ジェームズ・ワット	複写機		1800年頃	木、真鍮	個人蔵
76	67	ジャン＝ジャック・ルソー著	『エミール』		1762年	書籍	個人蔵

3.カンパニー・スクール

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
77	68	逸名インド人画家	アカバナスイレン(スイレン科)		1795年頃	水彩、紙	RBGKew
78	69	逸名インド人画家(おそらくヴィシュヌブラサード)	ウコンユリ(ユリ科)		19世紀初頭	水彩、紙	RBGKew
79	70	ヴィシュヌブラサード	ケロベギア(セロベギア)・ロンギフォリア(キョウチクトウ科)		1830年代	鉛筆、水彩、紙	RBGKew
80	71	逸名インド人画家	タマザキサクラソウ(サクラソウ科)		19世紀初頭	ガッシュ、紙	RBGKew
81	72	逸名インド人画家	テコメラの一種(ノウゼンカズラ科)		19世紀初頭	水彩、紙	RBGKew
82	73	逸名インド人画家	パフィオペディルム・インシグネ(ラン科)		1830年代	水彩、紙	RBGKew
83	74	逸名インド人画家	セッコク属の一種、おそらくデンドロビウム・ギブソニイ(ラン科)		19世紀初頭	ガッシュ、紙	RBGKew
84	75	逸名中国人画家	バラ属の一種(バラ科)		1900年頃	ガッシュ、紙	RBGKew
85	76	逸名中国人画家	バラ属の一種(バラ科)		1900年頃	ガッシュ、紙	RBGKew
86	77	逸名中国人画家	ボタンの栽培品種(ボタン科)		1900年頃	ガッシュ、紙	RBGKew
87	78	逸名中国人画家	ボタンの栽培品種(ボタン科)		1900年頃	ガッシュ、紙	RBGKew

4.カーティス・ボタニカル・マガジン

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
88	79	シデナム・ティースト・エドワーズ	アイリス・ルテセンズ(クリミア・アイリス)(アヤメ科)	CBM, Vol.28-No.1130原画	1808年	水彩、紙	RBGKew
89	80		ロムレア・スベキオース(アヤメ科)	CBM, Vol.36-No.1476原画	1809年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
90	81		ロードデンドロン・ボンティクム(ボンティックシャクナゲ)(ツツジ科)とハナエンジュ(マメ科)	—	1812年	水彩、紙	RBGKew
91	82		チョウマメ(マメ科)	CBM, Vol.37-No.1542原画	1813年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
92	83		ロザ・スピノシマ(バラ科)	CBM, Vol.38-No.1570原画	1813年頃	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
93	84		イボメア・ジャラバ(ヒルガオ科)	CBM, Vol.38-No.1572原画	1813年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
94	85		シャクヤク(ボタン科)	CBM, Vol.42-No.1756原画	1815年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
95	86		オランダシャクヤク(ボタン科)	CBM, Vol.43-No.1784原画	1815年頃	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
96	87	おそろくシデナム・ティースト・エドワーズ	エウロフィア・アラータ(野生のココ)(ラン科)	CBM, Vol.43-No.1814原画	1814年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
97	88		クレロデンドルム・フラグランズ(シソ科)	CBM, Vol.43-No.1834原画	1816年	水彩、紙	RBGKew
98	89		ヘディキウム・アングスティフォリウム(ショウガ科)	CBM, Vol.46-No.2078原画	1819年	水彩、紙	RBGKew
99	90	シデナム・ティースト・エドワーズ	アメリカフジ(マメ科)	CBM, Vol.46-No.2103原画	1819年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
100	91	ジェームズ・サワビー	カロライナユリあるいはケイツビーユリ(マツユリ)(ユリ科)	CBM, Vol.49-No.2280原画	1821年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
101	92	ジョン・カーティス	グロリオサ・シムプレックス(イヌサフラン科)	CBM, Vol.52-No.2539原画	1824年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
102	93—原画	シデナム・ティースト・エドワーズ	ボタンの栽培品種(ボタン科)	CBM, Vol.29-No.1154	1809年頃	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
103	—銅版		ボタンの栽培品種(ボタン科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
104	94—原画		ムラサキスイレン(ブルーロータスまたはスターロータス)の栽培品種(スイレン科)	CBM, Vol.29-No.1189	1809年	水彩、紙	RBGKew
105	—銅版		ムラサキスイレン(ブルーロータスまたはスターロータス)の栽培品種(スイレン科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
106	95—原画	チャーリッパ・シルベストリス	チャーリッパ・シルベストリスの栽培品種(ユリ科)	CBM, Vol.30-No.1202	1809年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
107	—銅版		チャーリッパ・シルベストリスの栽培品種(ユリ科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
108	96—原画		フィリテイリア・ラティフォリア(ユリ科)	CBM, Vol.30-No.1207	1809年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
109	—銅版		フィリテイリア・ラティフォリア(ユリ科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
110	97—原画	フィリテイリア・オリエンタリス	フィリテイリア・オリエンタリス(ユリ科)	CBM, Vol.30-No.1216	1809年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
111	—銅版		フィリテイリア・オリエンタリス(ユリ科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
112	98—原画	アクイレギア・ウィリディフローラ	アクイレギア・ウィリディフローラ(キンポウゲ科)	CBM, Vol.30-No.1221	1809年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
113	—銅版		アクイレギア・ウィリディフローラ(キンポウゲ科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
114	99—原画	イスメネ・アマンカエス	イスメネ・アマンカエス(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.30-No.1224	1809年	水彩、紙	RBGKew
115	—銅版		イスメネ・アマンカエス(ヒガンバナ科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
116	100—原画	ゲンティアナ・セプテムフィーダ	ゲンティアナ・セプテムフィーダ(リンドウ科)	CBM, Vol.30-No.1229	1809年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
117	—銅版		ゲンティアナ・セプテムフィーダ(リンドウ科)		1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
118	101—銅版		クリヌム・エルベスケンス(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.30-No.1232	1809年	銅版、手彩色、紙	個人蔵

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
119	102ー原画	シデナム・ティースト・エドワーズ	アフリカハマユウ(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.31-No.1253	1810年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
120	ー銅版		アフリカハマユウ(ヒガンバナ科)		1810年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
121	103ー銅版		アツバキミガヨラン(キジカクシ科)	CBM, Vol.31-No.1260	1810年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
122	104ー原画		ニゲラ・ヒスパニカ(キンボウゲ科)	CBM, Vol.31-No.1265	1810年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
123	ー銅版		ニゲラ・ヒスパニカ(キンボウゲ科)		1810年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
124	105ー原画		アロエ・ベルフォリアータ(瓦アロエまたはマイターアロエ)(ススキノキ科)	CBM, Vol.31-No.1270	1810年	黒鉛、水彩、紙	RBGKew
125	ー銅版		アロエ・ベルフォリアータ(瓦アロエまたはマイターアロエ)(ススキノキ科)		1810年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
126	106ー原画		アカバナスイレン(スイレン科)	CBM, Vol.31-No.1280	1810年	水彩、紙	RBGKew
127	ー銅版		アカバナスイレン(スイレン科)		1810年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
128	108ー左	ー	イリス・ベルシカ(アヤメ科)	CBM, Vol.1-No.1	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ムラサキバレンギク(キク科)	CBM, Vol.1-No.2			
129	109ー左	ー	キクラメン・コウム(サクラソウ科)	CBM, Vol.1-No.4	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ナルキッス・ミノール(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.1-No.6			
130	110ー左	ー	キノグロッサム・オムファローデス(ムラサキ科)	CBM, Vol.1-No.7	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ヘレボルス・ニゲル(クリスマスローズまたはブラックヘレボルス)(キンボウゲ科)	CBM, Vol.1-No.8			
131	111ー左	ー	プリムラ・ウィローサ(サクラソウ科)	CBM, Vol.1-No.14	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	キズイセン(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.1-No.15			
132	112ー左	ー	イリス・ウェアエガータ(アヤメ科)	CBM, Vol.1-No.16	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ゲラニウム・レイハルディ(フウロソウ科)	CBM, Vol.1-No.18			
133	113ー左	ー	ホンカンゾウ(ススキノキ科)	CBM, Vol.1-No.19	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	イリス・ウェルシコロール(アヤメ科)	CBM, Vol.1-No.21			
134	114ー左	ー	クロタネソウ(キンボウゲ科)	CBM, Vol.1-No.22	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	セキチク(ナデシコ科)	CBM, Vol.1-No.25			
135	115ー左	ー	コンウォールヴルス・トリコロール(ドワーファサガオ)(ヒルガオ科)	CBM, Vol.1-No.27	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	トケイソウ(トケイソウ科)	CBM, Vol.1-No.28			
136	116ー左	ー	ブロワリア・エラータ(ナス科)	CBM, Vol.1-No.34	1790年 (初版1787年)	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	リリウム・ブルビフェルム(オレンジュリ)(ユリ科)	CBM, Vol.1-No.36			
137	117ー左	ー	ウィブルヌム・ティヌス(ジョウリョクガマズミ)(レンブクソウ科)	CBM, Vol.2-No.38	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	カーネーションの栽培品種(ナデシコ科)	CBM, Vol.2-No.39			
138	118ー左	ー	トリリウム・セシレ(シュロソウ科)	CBM, Vol.2-No.40	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ヤブツバキの栽培品種(ツバキ科)	CBM, Vol.2-No.42			
139	119ー左	ー	シクラメンの栽培品種(サクラソウ科)	CBM, Vol.2-No.44	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ハナサフラン(クロッカス)(アヤメ科)	CBM, Vol.2-No.45			
140	120ー左	ー	ツバメズイセン(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.2-No.47	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー	ー	ナルキッス・トリアンツルス(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.2-No.48			
141	121ー左	ー	コアヤメ(アヤメ科)	CBM, Vol.2-No.50	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ナルキッス・マヨール(ヒガンバナ科)	CBM, Vol.2-No.51			
142	122ー左	ー	チャボリンドウ(リンドウ科)	CBM, Vol.2-No.52	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	アネモネ・シルウェストリス(キンボウゲ科)	CBM, Vol.2-No.54			
143	123ー左	ー	イリス・オクロレウカ(アヤメ科)	CBM, Vol.2-No.61	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ケンタウレア・グラスティフォリア(キク科)	CBM, Vol.2-No.62			
144	124ー左	ー	ホンカンゾウ(ススキノキ科)	CBM, Vol.2-No.64	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	クレマティス・インテグリフォリア(キンボウゲ科)	CBM, Vol.2-No.65			
145	125ー左	ー	ハナハマサジ(イソマツ科)	CBM, Vol.2-No.71	1788年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
	ー右	ー	ヘレボルス・リウイドゥス(クリスマスローズ)の栽培品種(キンボウゲ科)	CBM, Vol.2-No.72			
146	126	ダービー	ボタニカル・サービス		1795年頃	磁器	個人蔵
			ハナアオイ(アオイ科)				
147			ペラルゴニウム・テトラゴナム(桃蝶木)(フウロソウ科)				
148			ヒメムラサキ属の一種(ムラサキ科)				
149			ハゴロモジャスミン(モクセイ科)				
150			ハウチワマメ(マメ科)				
151			ニチニチソウ(キョウチクトウ科)				

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
152	126	ダービー	フウリンソウ(キキョウ科)		1795年頃	磁器	個人蔵
153			ヒオスキアムス・アウレウス(ナス科)				

5.女性画家たち

通し番号	作品番号	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
154	127	シャーロット・オーガスタ・マ チルダ	バラ属の栽培品種(バラ科)		1789年	インク、淡彩、紙	RBGKew
155	129	おそろくマーガレット・ミーン	無題の水彩画、ユリ属の一種(ユリ科)		1770–1820年	水彩、ガッシュ、紙	RBGKew
156	131		無題の水彩画、シソ科の一種		1800年頃	水彩、ガッシュ、紙	RBGKew
157	132		無題の水彩画、カッコウアザミ属の一種		1800年頃	水彩、ガッシュ、紙	RBGKew
158	134	エマ・タンカーヴィル夫人	ヒロハヒルガオ(ヒルガオ科)		1811年	水彩、厚紙	RBGKew
159	135	クララ・マリア・ポープによる挿絵	ツバキ属の栽培品	サミュエル・カー ティス著『ツバ キ属の研究(A Monograph on the Genus Camellia)』 (ファクシミリ版)	1980年代 (初版1819年)	印刷、紙	個人蔵
160	136	マリア・カリコット夫人	カボック(アオイ科)		1825年	水彩、紙	RBGKew
161	137	マリア・カリコット夫人	ゴノロブスの一種(キョウチクトウ科)		1825年頃	水彩、紙	RBGKew
162	138	サラ・アーン・ドレイク	カタセツム・サッカータム(ラン科)		1839–1841年	水彩、淡彩、紙	RBGKew
163	139		キルトボディウム・ブンクタツム(ラン科)		1839–1841年	水彩、淡彩、紙	RBGKew
164	140	ヘンリエッタ・マリア・モリ アーティ	コンウォルウルス・カイリクス(ヒルガオ科)		1807年	銅版、手彩色、紙	個人蔵
			ムラサキクンシラン(ヒガンバナ科)				
			シクラメンの栽培品種(サクラソウ科)				
			グラディオルス・ブランツス(アヤメ科)				
			クロタリニア・トリフローラ(タヌキマメ属の一種)(マメ科)				
			ウッドリリー(フィラデルフィアユリ、プレーリーユリ、またはウ エスタンユリ)(ユリ科)				

参考出品

	作家名	作品名	書誌情報	制作年	技法・素材	所蔵
1章に展示	ヨハン・ゾファニー	シャーロット王妃の肖像		1772年	メゾチント、紙	個人蔵
	ベルナール・バロン(ジャン・バティスト・ヴァン・ローの原画に基づく)	オーガスタ皇太子妃の肖像		1756年	エングレーヴィング、紙	RBGKew
	H. エドリッジ	ジョージ3世の肖像		1803年	銅版、紙	個人蔵
	トラモンティーニ	カール・フォン・リンネの肖像		—	エングレーヴィング、紙	個人蔵
	ニコロ・シャボネッティ(トマス・フィリップスの原画に基づく)	ジョセフ・バンクスの肖像		1812年	エングレーヴィング、紙	RBGKew
2章に展示	—	シャーロット王妃の肖像		1794年	銅版、紙	個人蔵
	ジョシュア・レイノルズ	ジョサイア・ウェッジウッドの肖像		1841年	メゾチント、紙	個人蔵
	—	ウェッジウッド&バイアリーのショールーム	ルドルフ・アッカマン『芸術の宝庫(The Repository of Arts)』ロンドン、1809年	1809年	銅版、紙	個人蔵
	F. ローランソン	エラズマス・ダーウィンの肖像		1804年	スティップル・エングレーヴィング、紙	個人蔵
	ウィリアム・ピーター(ジョセフ・ライトの原画に基づく)	太陽系儀の講義		1768年	メゾチント、紙	個人蔵
	W. エヴァンス	マシュー・ボールトンの肖像		1812年	スティップル・エングレーヴィング、紙	個人蔵
	—	ソーホー製作所		1800年	銅版、紙	個人蔵
	ウィリアム・ピーチャー	ジェームズ・ワットの肖像		1820年	スティップル・エングレーヴィング、紙	個人蔵
	—	《ボートランドの壺》内覧会の招待状			銅版、紙	個人蔵
5章に展示	—	ストランド街101番地 アッカマンの絵画販売店	ルドルフ・アッカマン『芸術の宝庫(The Repository of Arts)』ロンドン、1809年	1809年	エッチング・アクアチント、紙	個人蔵
	F. ウィートリー	クララ・マリア・ポープの肖像		1788年	スティップル・エングレーヴィング、紙	個人蔵

2-2 没後70年 吉田博展

会期：6月19日(土)～8月29日(日)

概要：洋画家の吉田博(1876-1950)は、風景画の巨匠として知られる。本展では後半生に没頭した木版画約200点を中心に、油彩画、水彩画、写生帖、版木をあわせて展示し、吉田博が捉えた美の世界を紹介した。

吉田博は明治32(1899)年に日本で描きためた水彩画を携えて渡米、自作を販売して渡欧資金を作るという快挙を成し遂げた。大正後期からは、西洋画の写実的な描写と日本の伝統的な木版技法を統合すべく研究を重ね、生涯に約250種もの木版画を制作した。平均して30回以上、時には100回近くもの摺りが重ねられた精緻な作品は世界中で愛され、かのダイアナ妃の執務室に飾られていたことでも知られる。

若い頃から世界を旅し、日本人ならではの絵画を考え続けた吉田博にとって、木版画は一つの到達点であった。多色摺木版の極致ともいえる名作の数々が一堂に会した。

巡回先：河口湖美術館、福岡県立美術館、京都高島屋、東京都美術館、パラミタミュージアム、川越市立美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡、中日新聞東海本社、日本経済新聞社

共催：毎日新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協賛：ニューカラー写真印刷株式会社

観覧料：一般 1,300円(1,100円)

大高生・70歳以上 900円(700円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

※2回目以降、本展有料観覧券半券提示で当日券200円引きとなるリピーター割引を実施

観覧者数：13,646人(有料9,849人、無料3,797人、有料率72.17%)

出品点数：219点

制作物：

1)チラシ

＜仕様＞紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・数量：A4 55,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：MTA+FS 135kg

サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,700部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

＜仕様＞195×255mm、255頁



カタログ表紙

カラー図版226点

参考図版(カラー10点、モノクロ32点)

吉田司「吉田博の生涯」

高山百合「近代日本の木版画の流れ」

吉田司「コラム① マッカーサーとの会見ーティルトン氏談」

西山純子「コラム② 吉田博の私家版」

吉田司「コラム③ ダイアナ妃と《光る海》の謎」

吉田司「コラム④ 吉田博の木版画ー世界百景を目指してーその特色と芸術観」

吉田博 略年譜／主要参考文献／作品目録

監修：吉田司(インターナショナル吉田版画アカデミー)

編集：吉田司、藍畑啓二(毎日新聞社)

翻訳：小川紀久子

発行：毎日新聞社

発行年：2019年

普及ツール：

1)本展オリジナルミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布、DM持参者には当館オリジナルクリアファイルをプレゼントした。

制作物：

◆ミニDM

＜仕様＞紙：MTA+・FS 200kg

サイズ・数量：107×150mm 15,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)シネシティ ザートとの相互サービスの実施

シネシティ ザートと相互協力を行い、当館にて映画観賞チケット提示でしずび缶バッジプレゼントを、またシネシティ ザートにて吉田博展有料観覧券提示でポップコーンセット100円引きとなるサービスを実施した。

利用者数：シネシティ ザート6人、当館36人

3)「山の日」特典ポストカードプレゼントの実施

山岳画家としても知られる吉田博にちなみ、静岡市環境創造課の協力を得て、山の日8月8日(日)の入場者先着100名に、さくらももこさんがイラストを手がけた「南アルプスはすてきだねえ。」ポストカードのプレゼントを行った。



8月17日 来場者1万人達成

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、11月22日放送。
- ・「展覧会紹介」BS日テレ『ぶらぶら美術・博物館』、2月16日放送。
- ・「「没後70年 吉田博展」開幕 ダイアナ妃に愛された作品」テレビ静岡『県内ニュース』、6月19日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、6月19日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ! 静岡情報館』、7月8日放送。
- ・「展覧会紹介」テレビ静岡『チョットいいタイム』、7月27日放送。

2)新聞

- ・「風景画の巨匠作 19日開幕へ準備」『中日新聞』静岡版、6月17日。
- ・「没後70年吉田博展あす開幕 摺り重ね光うつし」『中日新聞』静岡版、6月18日。
- ・谷口武「世界を旅 風景画の巨匠」『中日新聞』静岡版、6月20日。
- ・山本香瑞子「米国で足場固め 渡欧「吉田博展 美の旅人の軌跡」上」『中日新聞』静岡版、7月1日。
- ・山本香瑞子「山を愛した「絵の鬼」吉田博展 美の旅人の軌跡」中」『中日新聞』静岡版、7月3日。
- ・山本香瑞子「木版画 創作の集大成「吉田博展 美の旅人の軌跡」下」『中日新聞』静岡版、7月4日。
- ・谷口武「はるかなる 色彩の旅路」『中日新聞』静岡版、7月9日。
- ・山本香瑞子「作品紹介1 剣岳の一瞬捉える「日本アルプス十二題 剣山の朝」1926年」『中日新聞』静岡版、8月8日。
- ・山本香瑞子「作品紹介2 彫りと摺りに冴え「富士拾景 朝日」1926年」『中日新聞』静岡版、8月9日。
- ・山本香瑞子「作品紹介3 水の中の鯉 臨場感「池の鯉」1926年」『中日新聞』静岡版、8月11日。
- ・山本香瑞子「作品紹介4 同じ版木で朝と夜「タジマハルの朝霧 第五」1932年、「タジマハルの夜 第六」1932年」『中日新聞』静岡版、8月12日。
- ・山本香瑞子「作品紹介5 最も多い96度摺り「陽明門」1937年」『中日新聞』静岡版、8月13日。
- ・谷口武「吉田展来場1万人超え」『中日新聞』静岡版、8月18日。

3)雑誌他

- ・「水と大気を閉じ込めたみずみずしい木版画」『和楽』、2・3月号。
- ・「木版画で世界に挑んだYOSHIDA」『美術展びあ2021(びあMOOK)』。
- ・「吉田博の木版画の世界」『時空旅人』、2021年3月号増刊。
- ・「展覧会紹介」『山と溪谷』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、4・5月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『ひととき』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『PEAKS』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『潮』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「展覧会紹介」『岳人』、8月号。
- ・「展覧会紹介」『小さな蕾』、8月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『国際浮世絵学会』、第120号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、8月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「インターネットミュージアム」、「OBIKAKE」、「アートアジェンダ」、「Fashion Press」、「アットエス」、「Kita-Colle ART」、「YAHOO!JAPAN、じゃらんnet等」、「ウェブ版「美術手帖」、「ぴあポイント」、「ケイティコム 今見られる全国のおすすめ展覧会」



関連事業：

1) 講演会①「吉田博の木版画の魅力」

概要：吉田博研究の第一人者である講師に吉田博の生涯と作品についてお話しいただいた。長年の研究に基づく豊富なエピソードが交えられ、吉田博の反骨精神や制作手法、作品の魅力がよく伝わる好事業となった。

日時：7月3日(土)14:00-16:00

会場：多目的室 **参加者数：**47人

講師：安永幸一氏(元福岡アジア美術館館長)



2) 講演会②「吉田博の山旅」

概要：登山者の立場から吉田博の旅と山岳風景画についてお話しいただいた。吉田博の自然観や山を巡る人々との交流についての考察、吉田博の制作地である山岳を探し歩いた体験談など、画家でありクライマーでもある講師ならではの内容となった。

日時：7月31日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**40人

講師：成瀬洋平氏(山岳画家・山岳ライター)



3) 当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①7月17日(土) ②8月9日(月・休)
いずれも14:00-

会場：多目的室 **参加者数：**計83人

参加料：無料



出品作品リスト

- ・展示期間の記載のない作品は通期展示。
- ・所蔵先の記載のない作品は個人蔵。

プロローグ

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
1	前	雲井桜		明治32(1899)年頃	水彩、紙	49.5×67.5	福岡県立美術館
2	後	雲表		明治42(1909)年	水彩、紙	67.5×102.0	福岡県立美術館
3		溪流		明治43(1910)年	油彩、カンバス	119.0×149.0	福岡市美術館
4		穂高山		大正期	油彩、カンバス	108.5×137.0	
5		明治神宮の神苑	渡邊版	大正9(1920)年	木版、紙	126.8×30.3	
6	前	牧場の午後	渡邊版	大正10(1921)年	木版、紙	45.3×32.6	千葉市美術館
7	後	馬返し	渡邊版	大正11(1922)年	木版、紙	45.3×33.0	千葉市美術館
特別出品		ヴェニスの運河		明治39(1906)年	油彩、カンバス	39.5×50.0	
特別出品		上高地の夏		大正4(1915)年	水彩、紙	67.0×99.3	九州大学大学文書館

第1章 それはアメリカから始まった

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
8		ホノルル水族館	米国シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	24.0×37.0	
9		エル キャピタン	米国シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	37.4×25.0	
10		グランドキャニオン	米国シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	24.7×37.2	
11		モレーン湖	米国シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	37.0×24.8	
12		ナイアガラ瀑布	米国シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	25.1×37.2	
13		レニヤ山	米国シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	35.9×51.0	
14		ユングフラウ山	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	25.0×37.1	
15		ウェテホルン	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	36.9×25.4	
16		ブライトホルン山	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	24.9×37.2	
17		マタホルン山	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	51.0×36.0	
18		マタホルン山 夜	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	51.0×36.0	
19		ルガン町	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	25.0×37.2	
20		アゼンスの古跡	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	25.6×37.2	
21		アゼンスの古跡 夜	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	25.3×37.1	
22		スフィンクス	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	25.0×37.2	
23		スフィンクス 夜	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	25.0×37.2	
24		ヴェニスの運河	欧州シリーズ	大正14(1925)年	木版、紙	37.2×25.0	

第2章 奇跡の1926年

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
25		剣山の朝	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.0×24.8	
26		烏帽子岳の旭	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.3×25.0	
27		穂高山	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	24.9×37.5	
28		大天井岳より	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	25.7×37.4	
29		白馬山頂より	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	24.8×37.3	
30	後	五色原	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	24.8×37.4	千葉市美術館
31		黒部川	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.4×25.1	
32	前	立山別山	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	24.9×37.1	
33		雷鳥とこま草	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	25.0×37.0	
34	前	鷺羽岳の野営	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.0×24.8	千葉市美術館
35		針木雪溪	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.0×24.4	
36	後	鎗ヶ岳	日本アルプス十二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.5×24.8	千葉市美術館
37		光る海	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	37.2×24.7	
38	前	雨後の夕	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	24.8×37.4	千葉市美術館
39	後	鞆の浦	瀬戸内海集	昭和2(1927)年	木版、紙	24.8×37.6	
40		帆船 朝	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	50.8×35.9	
41		帆船 午前	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	50.8×36.1	
42		帆船 午後	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	50.9×36.1	
43		帆船 霧	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	50.9×36.0	
44		帆船 夕	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	50.5×36.0	
45		帆船 夜	瀬戸内海集	大正15(1926)年	木版、紙	50.8×36.1	

第3章 特大版への挑戦

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
46		雲井櫻		大正15(1926)年	木版、紙	53.9×70.7	
47		朝日	富士拾景	大正15(1926)年	木版、紙	53.3×71.2	
48	後	雨後の穂高山		昭和2(1927)年	木版、紙	54.5×71.2	福岡市美術館
49	前	雲海 鳳凰山		昭和3(1928)年	木版、紙	54.5×82.7	
50		沼崎牧場		昭和3(1928)年	木版、紙	54.0×71.0	
51		溪流		昭和3(1928)年	木版、紙	54.5×82.8	

第4章 富士を描く

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
52		御来光	富士拾景	昭和3(1928)年	木版、紙	25.0×37.5	
53		河口湖	富士拾景	大正15(1926)年	木版、紙	36.5×51.2	
54	前	船津	富士拾景	昭和3(1928)年	木版、絹	37.6×24.9	
55	後	馬返し	富士拾景	昭和3(1928)年	木版、紙	37.5×24.8	
56	前	山頂劔ヶ峯	富士拾景	昭和3(1928)年	木版、紙	24.7×37.5	
57		興津	富士拾景	昭和3(1928)年	木版、紙	24.9×37.4	
58	後	むさしの	富士拾景	昭和3(1928)年	木版、紙	24.9×37.6	
59		山中湖		昭和4(1929)年	木版、紙	45.9×60.7	
60		三保		昭和10(1935)年	木版、紙	24.5×37.8	
61		鈴川		昭和10(1935)年	木版、紙	24.5×37.7	

第5章 東京を描く

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
62		隅田川	東京拾二題	大正15(1926)年	木版、紙	24.8×37.3	
63		隅田川 タ	東京拾二題	大正15(1926)年	木版、紙	24.8×37.3	
64	前	植物園の睡蓮	東京拾二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.2×24.9	
65	後	百花園の秋	東京拾二題	大正15(1926)年	木版、紙	37.2×24.8	
66		不忍池	東京拾二題	昭和3(1928)年	木版、紙	37.5×24.5	
67		亀井戸	東京拾二題	昭和2(1927)年	木版、紙	37.5×24.7	
68	前	堀切の志ようぶ	東京拾二題	昭和3(1928)年	木版、紙	37.7×25.0	
69		金魚すくい	東京拾二題	昭和3(1928)年	木版、絹	24.7×37.5	
70		落合徳川ばたん園	東京拾二題	昭和3(1928)年	木版、紙	25.0×37.2	
71	後	平河橋	東京拾二題	昭和4(1929)年	木版、紙	37.8×24.8	
72		神楽坂通 雨後の夜	東京拾二題	昭和4(1929)年	木版、紙	37.5×24.5	
73		中里之雪	東京拾二題	昭和3(1928)年	木版、紙	51.4×36.7	
74		旧本丸	東京拾二題	昭和4(1929)年	木版、紙	24.6×37.7	
75	前	石神井		昭和12(1937)年	木版、紙	23.4×30.7	
76	後	池之端		昭和12(1937)年	木版、紙	24.5×37.5	
77		上野公園		昭和13(1938)年	木版、紙	37.6×24.8	

第6章 親密な景色:人や花鳥へのまなざし

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
78		きばたん あうむ	動物園	大正15(1926)年	木版、紙	37.1×25.3	
79		くるまさか あうむ	動物園	大正15(1926)年	木版、紙	36.9×24.7	
80		於ぼばたん あうむ	動物園	大正15(1926)年	木版、紙	37.1×24.7	
81	前	沼崎牧場のひる		昭和2(1927)年	木版、紙	36.5×51.2	
82	後	蜀葵		昭和3(1928)年	木版、紙	36.1×51.1	千葉市美術館
83		こども		昭和2(1927)年	木版、紙	51.4×36.3	
84		鏡之前		昭和2(1927)年	木版、紙	51.3×35.5	
85	前	提灯屋		大正15(1926)年	木版、紙	37.2×24.9	
86	後	根津 正直八百屋		大正15(1926)年	木版、紙	37.2×25.0	
87		池の鯉		大正15(1926)年	木版、紙	37.1×24.7	
88		柳に石橋		大正15(1926)年	木版、紙	37.1×24.8	
89		湖畔之庭	庭四題	昭和8(1933)年	木版、紙	16.3×37.7	
90	前	夏之庭	庭四題	昭和8(1933)年	木版、紙	37.6×16.3	
91	後	秋之銀杏	庭四題	昭和4(1929)年	木版、紙	37.4×16.2	
92	前	つゝじの庭		昭和10(1935)年	木版、紙	37.5×24.8	

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
93	後	梅之家		昭和10(1935)年	木版、紙	37.5×25.0	
94		藤之庭		昭和10(1935)年	木版、紙	24.6×37.4	

第7章 日本各地の風景I 1926-1930

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
95	前	利根川		大正15(1926)年	木版、紙	25.0×37.2	
96		二月堂		大正15(1926)年	木版、紙	37.3×25.5	
97	後	木曾川		昭和2(1927)年	木版、紙	24.6×37.4	
98		姫路城		大正15(1926)年	木版、紙	36.9×24.6	
99		姫路城 タ		昭和3(1928)年	木版、紙	34.9×23.4	
100		日田筑後川の夕		昭和2(1927)年	木版、紙	24.9×37.5	
101	前	中房川奔流		大正15(1926)年	木版、紙	24.8×37.7	
102	後	温泉岳		昭和2(1927)年	木版、紙	25.0×37.4	
103	前	房洲海岸		昭和2(1927)年	木版、紙	25.0×37.4	
104	後	春の日		昭和2(1927)年	木版、紙	24.9×37.4	
105	前	柏原之雪		昭和2(1927)年	木版、紙	24.8×37.5	
106	後	田口の冬		昭和2(1927)年	木版、紙	24.9×37.5	
107		大漁		昭和3(1928)年	木版、紙	51.1×36.2	
108		大原海岸		昭和3(1928)年	木版、紙	51.3×36.3	
109		駒ヶ岳山頂より	日本南アルプス集	昭和3(1928)年	木版、紙	24.5×37.8	
110	後	駒ヶ岳岩小屋	日本南アルプス集	昭和3(1928)年	木版、紙	24.7×37.7	
111	前	露營 北岳間の岳	日本南アルプス集	昭和3(1928)年	木版、紙	24.6×37.6	
112		雨後のハヶ岳(駒ヶ岳石室より)	日本南アルプス集	昭和3(1928)年	木版、紙	24.7×37.6	
113		白石島	瀬戸内海集 第二	昭和5(1930)年	木版、紙	24.8×37.6	
114	前	阿武菟の朝	瀬戸内海集 第二	昭和5(1930)年	木版、紙	24.6×37.5	
115	後	倉	瀬戸内海集 第二	昭和5(1930)年	木版、紙	24.5×37.4	
116	前	潮待ち	瀬戸内海集 第二	昭和5(1930)年	木版、紙	24.6×37.6	
117	後	静奈る日	瀬戸内海集 第二	昭和5(1930)年	木版、紙	24.7×37.7	
118	前	三つ小島	瀬戸内海集 第二	昭和5(1930)年	木版、紙	24.6×37.4	
119	後	神の島	瀬戸内海集 第二	昭和5(1930)年	木版、紙	24.8×37.6	

第8章 印度と東南アジア

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
120		シンガポール	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	37.6×24.6	
121		ランゲーン金塔	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.5	
122		ヴィクトリア メモリアル	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.6	
123		ペナレスのガット	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.6	
124		カンチェンジャンガ 朝	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.6	
125		カンチェンジャンガ	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.6	
126		タジマハルの庭	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.7×37.5	
127		タジマハルの庭 夜	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.6×37.5	
128		フワテプールシクリ	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	37.9×24.9	
129	後	アムリッサー	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.1	
130	前	ジャイプールのアジュメル門	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	37.6×24.7	
131	後	アジュメルのブレンデルワジャー	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	37.6×24.8	
132	前	ウダイプールの城	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	37.6×24.8	
133	後	シャラマル ガーデン	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	37.6×24.7	
134	前	アジヤンタ	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.8	
135	後	エロラ カイラサテンブル	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	37.6×24.6	千葉市美術館
136	後	マデュラの神殿	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	37.7×24.5	
137	前	サンチの門	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	37.6×24.9	
138		月夜のタジマハル 第四	印度と東南アジア	昭和6(1931)年	木版、紙	24.8×37.7	
139		アグラ郊外 第三	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	24.7×37.6	
140		タジマハルの朝霧 第五	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	36.2×51.0	
141		タジマハルの夜 第六	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	36.1×51.3	
142	前	蛇使ひ	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	24.8×37.7	

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
143	後	町はづれ	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	24.7×37.7	
144	前	ウダイプールの島御殿	印度と東南アジア	昭和7(1932)年	木版、紙	24.8×37.6	千葉市美術館

第9章 日本各地の風景Ⅱ 1933-1935

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
145	前	河野祭	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	37.5×24.5	
146	後	文之助茶屋	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	37.5×24.3	
147	前	瀬田之唐橋	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	24.3×37.5	
148	後	加茂川	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	24.8×37.6	
149		まるやま公園	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	24.7×37.7	
150	前	金閣	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	37.6×24.5	
151	後	奈良の夕	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	37.5×24.4	
152		猿澤池	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	37.7×24.6	
153	前	京都之夜	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	37.6×24.5	
154	後	料理や之夜	関西	昭和8(1933)年	木版、紙	37.1×24.0	
155	前	三溪園	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	37.7×24.7	
156	後	鐘樓	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	37.7×24.4	
157	後	弘前城	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	37.5×24.7	
158	前	春雨	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	37.4×24.7	千葉市美術館
159	後	川越之櫻	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	37.7×24.8	
160	前	嵐山	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	37.7×24.8	
161	前	樓門	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	24.6×37.7	
162	後	花盛り	櫻八題	昭和10(1935)年	木版、紙	24.5×37.4	
163	前	八坂神社		昭和10(1935)年	木版、紙	37.6×24.4	
164	後	大坂城		昭和10(1935)年	木版、紙	37.5×24.5	

第10章 外地を描く、大陸を描く

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
165		港之夜		昭和13(1938)年	木版、紙	24.9×37.7	
166		昌慶宮	北朝鮮・韓国・旧満州	昭和12(1937)年	木版、紙	24.7×37.5	
167	前	大同門	北朝鮮・韓国・旧満州	昭和12(1937)年	木版、紙	24.5×37.5	
168	後	北陵	北朝鮮・韓国・旧満州	昭和12(1937)年	木版、紙	24.7×37.5	
169	前	奉天市場	北朝鮮・韓国・旧満州	昭和12(1937)年	木版、紙	24.5×37.5	
170	後	奉天大南門	北朝鮮・韓国・旧満州	昭和12(1937)年	木版、紙	24.5×37.5	
171	前	湖口		昭和14(1939)年	木版、紙	24.6×37.5	
172	後	廬山		昭和14(1939)年	木版、紙	24.6×37.4	
173		小姑山		昭和14(1939)年	木版、紙	37.5×24.7	
174		星子		昭和15(1940)年	木版、紙	37.4×24.7	
175	前	石鐘山		昭和15(1940)年	木版、紙	24.7×37.4	
176	後	蘇州		昭和15(1940)年	木版、紙	24.7×37.5	

第11章 日本各地の風景Ⅲ 1937-1941

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
177	前	神橋		昭和12(1937)年	木版、紙	24.8×37.7	
178	後	歌ヶ濱		昭和12(1937)年	木版、紙	24.6×37.5	
179	前	杉並木		昭和12(1937)年	木版、紙	37.7×24.7	
180	後	東照宮		昭和12(1937)年	木版、紙	37.7×24.7	千葉市美術館
181		陽明門		昭和12(1937)年	木版、紙	37.9×24.8	
182	前	春日参道		昭和13(1938)年	木版、紙	37.7×24.7	
183		休み茶屋		昭和13(1938)年	木版、紙	24.4×37.6	
184		北海道静 利尻山		昭和13(1938)年	木版、紙	24.7×37.7	
185	後	鼠ヶ関辨天島		昭和14(1939)年	木版、紙	37.7×24.6	
186	前	竹林		昭和14(1939)年	木版、紙	37.7×24.8	
187		深林之宮		昭和15(1940)年	木版、紙	37.1×25.0	
188		亀と鯉		昭和15(1940)年	木版、紙	37.7×25.0	
189	後	大佛山門		昭和15(1940)年	木版、紙	37.2×24.8	

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
190	前	御室		昭和15(1940)年	木版、紙	24.8×37.8	
191	後	金門		昭和16(1941)年	木版、紙	35.9×50.3	
192		温泉之春		昭和15(1940)年	木版、紙	24.7×37.4	
193		新月		昭和16(1941)年	木版、紙	24.5×37.1	

エピソード

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
194		農家		昭和21(1946)年	木版、紙	24.5×37.3	

資料

No.	前期 後期	作品名	版元、シリーズ名	制作年	技法、素材	寸法(縦×横cm)	所蔵先
		版木《富士拾景 朝日》		大正15(1926)年			
		写生帖		明治期～昭和16(1941)年頃			

2-3 静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念
生誕160年記念 グランマ・モーゼス展
ー素敵な100年人生

会期：9月14日(火)～11月7日(日)

概要：グランマ・モーゼスの愛称で親しまれるアンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス(1860-1961)は、70代で本格的に絵筆を取り、101歳で亡くなる年まで1,600点以上の作品を遺した。モーゼスは、生涯をアメリカ北東部の農村で暮らした経験をもとに、四季の移ろいや日々の仕事、季節ごとの行事などを、豊かな色彩と素朴な筆致で詳細に描き出した。これらの絵は偶然、村を訪れたコレクターの目に留まり、1940年、80歳の時にニューヨークで初個展を開いた。米国各地で展覧会を開催し、当時の大統領トルーマンより表彰を受けるなど国民的画家となっても堅実な暮らしぶりは変わらず、日々を喜びに満ちたものにしようと生きた農村の人々の暮らしを描き続けた。日本で開催される16年ぶりの回顧展となる本展では、最初期の油彩画から100歳で描いた絶筆、愛用品や関連資料など、日本初公開を含む約130点を紹介した。

巡回先：あべのハルカス美術館、名古屋市美術館、世田谷美術館、東広島市立美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送

後援：アメリカ大使館、静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協力：ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク、日本航空

協賛：損保ジャパン、NISSHA

特別協賛：清水銀行

企画協力：東映

観覧料：一般 1,300円(1,100円)
大高生・70歳以上 900円(700円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：16,437人(有料11,405人、無料5,032人、有料率69.39%)

出品点数：131点(参考出品51点を含む)

制作物：

1)チラシ

＜仕様＞紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 60,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：モンテアルバ 120.5kg

サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,700部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



チラシ中面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>250×280mm、208頁



カタログ表紙

カラー図版146点

参考図版(カラー32点、モノクロ22点)

ジェーン・カリアー「“人生は自分で作り上げるもの”アンナ・メアリー・ロバートソン・“グランマ”・モーゼス(1860-1961)物語」
千足伸行「グランマ・モーゼスの失樂園」
遠藤望「農場の主婦と開拓の娘—ローラ・インガルス・ワイルダーをサブテキストとして」
松田弘「グランマ・モーゼスの今日的意義—コミュニティーへの帰還」

浅川真紀「コラム 食いしん坊が見るグランマ・モーゼス」

井口智子「コラム アメリカの「幸せの風景」」

年譜／関連文献目録／出品目録

監修：千足伸行(成城大学名誉教授)

編集：遠藤望(世田谷美術館)、塚田美紀(世田谷美術館)、樋口茉莉奈(世田谷美術館)、浅川真紀(あべのハルカス美術館)、井口智子(名古屋市美術館)、所ふたば(東広島市立美術館)、東映

翻訳：クリストファー・スティヴンズ、日本映像翻訳アカデミー

制作：印象社

発行：東映、BS-TBS

発行年：2021年

普及ツール：

1)音声ガイド

2)鑑賞ガイド

親子向け鑑賞ガイドを作成し、市内小学校全児童に配布、館内でも配架した。

制作物：

◆鑑賞ガイド

<仕様>紙：上質紙 70kg

サイズ・加工・数量：210×592mm(仕上210×148mm)、
ジャバラ折り 20,000部



鑑賞ガイド表面



鑑賞ガイド中面

3)本展オリジナルミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：ライトスタッフGA-FS 135kg

サイズ・数量：100×148mm 20,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

4)本展オリジナル子ども向けミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内幼・保・こども園全児童へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：ライトスタッフGA-FS 135kg

サイズ・数量：100×148mm 28,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

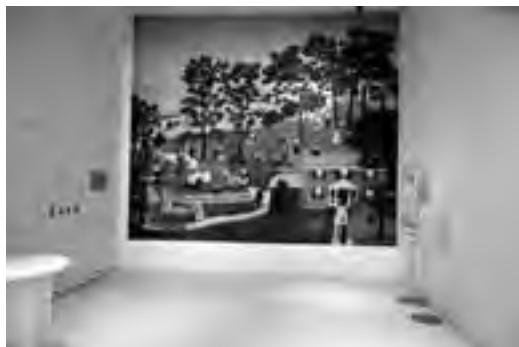
5)作品切り抜きパネルの設置

エントランスホールには、作品に登場する人物や動物などの切り抜きパネルをちりばめた。



6)フォトスポットの設置

来館者のSNS等での情報発信を期待し、展示室出口にフォトスポットを設置した。



7)人気投票パネルの設置

来場者参加企画として、展示室出口には作品の人気投票を実施した。



8)敬老ウィーク！グランマ・グランパ特典

9月16日(木)から9月20日(月・祝)の敬老の日までの5日間、65歳以上の有料観覧者各日先着50名に、日毎に異なる展覧会ポストカードをプレゼントした。

9)ハロウィーン特典

10月14日から10月30日の木・金・土曜と10月31日(日)の計10日間、16:00以降の観覧者各日先着30名に、当館オリジナルグッズをプレゼントした。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)ベルナール・ビュフェ美術館「丸木スマ展」との相互サービスの実施

日本のグランマ・モーゼスとも称される丸木スマの展覧会が同時期に県内で開催される事に伴い、ベルナール・ビュフェ美術館「丸木スマ展」(会期：4月24日～9月28日)と相互協力を行い、それぞれ観覧券半券提示で、当館ではオリジナルグッズプレゼントを、ベルナール・ビュフェ美術館では観覧料割引となるサービスを実施した。

利用者数：ベルナール・ビュフェ美術館3人、当館33人

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、6月13日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『ヨエロスんE』、8月27日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、8月28日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『あさらじ！@Morning』、9月15日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館』、9月16日放送。
- ・「限定特別メニュー 中島屋グランドホテル モーゼスおばあちゃんと素敵なアフタヌーンティー」SBSテレビ『Sole いいね！』、9月17日放送。
- ・「グランマ・モーゼスの作品展」NHK静岡放送局『県内ニュース』、9月20日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『人生100年 モーゼスおばあさんが描く幸せの風景』、9月23日放送。
- ・「展覧会紹介」BS-TBS『人生100年 モーゼスおばあさんが描く幸せの風景』、9月26日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！木曜日』、9月30日放送。
- ・「展覧会紹介」TOKAIケーブルネットワーク『トコチャンワイド』、10月5日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『Sole いいね！』、10月12日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館』、10月14日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『Sole いいね！』、10月22日放送。

2)新聞

- ・太田紗世「農村にも機械文明の波「初めての自動車」①」『静岡新聞』(夕刊)、9月6日。
- ・太田紗世「雄大で懐かしい原風景「5月:せっけんを作り、羊を洗う」②」『静岡新聞』(夕刊)、9月7日。
- ・太田紗世「作業に勤しむ人々の姿「アップル・バター作り」③」『静岡新聞』(夕刊)、9月8日。
- ・太田紗世「自給自足を彩る甘味料「シュガリング・オフ」④」『静岡新聞』(夕刊)、9月9日。
- ・太田紗世「青一色、幻想的な「聖夜」「来年までさようなら」⑤」『静岡新聞』(夕刊)、9月10日。
- ・鈴木明芽「作品を確認 展示準備」『静岡新聞』、9月12日。
- ・「農村日常 色彩豊かに」『静岡新聞』、9月15日。
- ・橋爪充「清流 画面からの挑発」『静岡新聞』、9月18日。
- ・「米国の農村 優しい筆致」『読売新聞』静岡版、9月26日。
- ・「結城アンナさん「生きる強さ、人生を楽しむ明るさに引かれ」」『静岡新聞』、10月9日。
- ・「モーゼス作品 食でも楽しんで 飲食店で特別料理」『静岡新聞』、10月17日。
- ・大西若人「田園の暮らし101歳まで」『朝日新聞』(夕刊)、10月19日。
- ・遠藤竜哉「粘土こねこね カボチャ飾り」『静岡新聞』、10月24日。
- ・鈴木明芽「「モーゼス展」一万人」『静岡新聞』、10月30日。
- ・村田真「素朴で奔放 作風に共通点」『北海道新聞』(夕刊)、11月2日。

3)雑誌他

- ・「モーゼスおばあちゃんが描く幸せの風景」『美術展びあ2021(びあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『時空旅人』、2021年3月号増刊。
- ・「70代で絵筆を取った“モーゼスおばあちゃん”の豊かな100年人生」『ハルメク』、5月号。
- ・「モーゼスおばあさんのハッピー絵画ライフ」『芸術新潮』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「グランマ・モーゼスの人生と絵」『天然生活』、8月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「グランマ・モーゼスが描く喜びに満ちた情景を展観」『すごい美術館 2021-2022(びあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『にぎょう日本』、9月号。
- ・「人生100年時代にモーゼスおばあちゃんが贈る「幸せの風景」」『ゆうゆう』、10月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。
- ・「展覧会紹介」『和布と手作り』、12号。
- ・「展覧会紹介」『In Red』、10月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『ハッピーシニア体験ツアー おまちさんば編』。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、10月号。
- ・「グランマ・モーゼスに学ぶ生き方」『コレカラ』、2021年秋号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、11月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「インターネットミュージアム」、「OBIKAKE」、「Kita-Colle ART」、「アットエス」、「アートアジェンダ」、「YAHOO!JAPAN、じゃらんnet等」、「Fashion Press」、「ウェブ版「美術手帖」」、「womo (ウェブサイト版)」、「びあポイント」、「静岡信用金庫LINE配信」



10月29日 来場者1万人達成

関連事業：

1) 講演会「グランマ・モーゼスの絵を読む」

概要：素朴派の研究者で、本展の企画に携わった世田谷美術館学芸員の遠藤望氏を講師に招き、モーゼスの生涯や作品の読み解き方について講演いただいた。非常に分かりやすい語り口で、作品の魅力や制作秘話が紹介され当時の時代背景も深く理解する事に繋がった。なお緊急事態宣言下での実施となったため講師はリモート出演となった。

日時：9月25日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**45人

講師：遠藤望氏(世田谷美術館学芸員)



2) 当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。なお、当館初の試みとして未就学児の親子向けにも実施。開始前の待ち時間に美術館でのマナーを周知したほか、作品にまつわるクイズのスライドを常時投影してトークへの導入とするなど細やかな工夫を盛り込んだ。

日時：①10月9日(土)14:00-

②10月16日(土)11:00-、14:00-

対象：①どなたでも

②2歳以上の未就学児とその保護者

会場：多目的室 **参加者数：**計78人

参加料：無料



出品作品リスト

・資料No.には、冒頭にMを付している。

第1章 アンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス

番号	作品名	制作年	技法／材質	寸法 (cm)	所蔵
1	グランマ誕生の地	1959年	油彩／合板	30.5×40.7	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
2	冬のネボ山農場	1943年	油彩／合板	52.0×67.3	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
3	丘の上のネボ山農場	1940年	梳毛糸／布	25.4×35.6	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
4	ファイヤーボード(暖炉の覆い)	1918年	油彩／紙	82.0×98.4	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
5	パークシャーの秋	1938年以前	油彩／カンヴァス	20.3×36.2	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
6	守護天使	1940年以前	油彩／厚紙	22.9×17.8	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
7	イギリスの別荘の花園	1940年頃	梳毛糸／布	26.8×33.3	SOMPO美術館
8	丘から家路につく羊飼ひ	1940年	梳毛糸／布	24.1×28.9	ハーモ美術館
9	海辺のコテージ	1941年	梳毛糸／布	28.6×40.6	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
10	冬の湖	1941年	梳毛糸／布	25.4×30.5	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
11	フジック・フォールズ、ニューヨークII	1944年	油彩／板	51.0×65.7	SOMPO美術館
12	初めての自動車	1939年以前	油彩／厚紙	24.8×29.2	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
13	グリニッチへの道	1940年	油彩／厚紙	35.6×55.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
14	ケンブリッジ溪谷	1943年	油彩／合板	61.0×75.5	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
15	窓越しに見たフジック谷	1946年	油彩／合板	48.9×55.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
16	フジック川、夏	1952年	油彩／合板	45.7×60.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
17	フジック川、冬	1952年	油彩／合板	45.7×60.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
18	気球	1957年	油彩／合板	40.0×60.9	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
19	フォレスト・モーゼスの家	1952年	油彩／合板	30.3×40.7	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)

第2章 仕事と幸せと

番号	作品名	制作年	技法／材質	寸法 (cm)	所蔵
20	耕す少年	1950年	油彩／板	30.5×40.7	アリス・アイヴィ・ワイス蔵
21	干し草作り	1945年	油彩／合板	60.9×76.2	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
22	収穫期	1945年	油彩／合板	45.7×71.1	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
23	ニワトリ	1959年	油彩／合板	30.5×40.6	ディアンサ・C & ジョージ・C・ハリントン蔵
24	馬車修理店	1960年	油彩／合板	40.7×60.9	ベニントン美術館
25	休憩中	1951年	油彩／合板	60.9×76.2	スミソニアン・アメリカ美術館 (ヒルデガード・バカートを追悼してキャリア一家による寄贈)
26	洗濯物をとり込む	1951年	油彩／合板	43.2×55.2	キャリアー・ファミリー財団、ニューヨーク
27	5月:せっけんを作り、羊を洗う	1945年	油彩／合板	43.8×61.6	ミス・ポーターズ・スクール、ファーマントン、コネチカット (レイモンド・F・エヴァンス夫人による寄贈)
28	1800年のろうそく作り	1950年	油彩／合板	22.9×23.5	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
29	日曜日にはみんな着飾って	1940年以前	油彩／合板	28.5×33.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
30	訪問者	1959年	油彩／合板	40.7×60.9	モンクレア美術館 (ウィリアム・ライトフット・シュルツ財団による寄贈[1970.17])
31	ご褒美で買ったもの	1947年	油彩／合板	61.0×97.2	東京富士美術館
32	古い台所	1948年	油彩／板	50.5×41.0	SOMPO美術館
33	キルティング・ビー	1950年	油彩／合板	50.8×61.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
34	昔	1957年	油彩／合板	40.7×60.9	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
35	プロポーズ	1948年	油彩／板	88.9×112.1	SOMPO美術館
36	村の結婚式	1951年	油彩／合板	43.0×56.0	ベニントン美術館
37	農場の引越し	1951年	油彩／合板	43.2×55.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
38	そりを出す	1960年	油彩／合板	40.7×60.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
39	冬の牧場	1945年	油彩／メソナイト	49.5×65.0	東京富士美術館
40	古い格子縞の家、1860年	1942年	油彩／合板	40.7×50.8	リチャード・D・デッラ・ベンナM.D.とメール・A・ナボニックM.D.、 サンディエゴ、カリフォルニア
41	古い格子縞の家	1944年	油彩／板	60.7×109.4	SOMPO美術館
42	古い櫛のつるべ	1943年	油彩／板	46.1×60.7	SOMPO美術館
43	古い櫛のつるべ、1760年冬	1944年	油彩／板	61.0×86.4	SOMPO美術館
44	古い櫛のつるべ、冬	1952年	油彩／合板	45.7×60.9	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
45	昔	1942年	油彩／板	42.0×52.0	ハーモ美術館
46	家の古いブランコ	1940年	油彩／合板	25.4×30.5	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
47	子ども時代の願い	1947年	油彩／合板	68.5×53.3	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)

第3章 季節ごとのお祝い

番号	作品名	制作年	技法／材質	寸法 (cm)	所蔵
48	シュガリング・オフ	1955年	油彩／合板	45.7×61.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
49	砂糖作り(シュガリング・オフ)	1940年頃	油彩／板	35.3×46.3	SOMPO美術館
50	家族のピクニック	1951年	油彩／合板	42.5×55.8	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
51	アップル・バター作り	1947年	油彩／合板	48.9×59.1	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
52	ハロウィーン	1955年	油彩／合板	45.7×60.9	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
53	魔女	1960年	油彩／合板	40.7×60.9	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
54	七面鳥を追いかけて	1940年	油彩／合板	30.5×40.7	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
55	七面鳥	1958年	油彩／合板	40.7×60.9	スミソニアン・アメリカ美術館 (オットー・キャリアを追悼してキャリア家による寄贈)
56	川を渡っておばあちゃんの家へ	1941年	油彩／合板	45.7×76.2	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
57	川を渡っておばあちゃんの家へ	1944年	油彩／合板	48.9×84.4	世田谷美術館
58	クリスマス・ツリーを探しに	1946年	油彩／合板	66.1×91.5	スミソニアン・アメリカ美術館 (ヒルデガート・バカートに敬意を表してキャリア家による寄贈)
59	家のクリスマス	1946年	油彩／合板	45.7×58.4	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
60	サンタクロースI	1960年	油彩／合板	40.7×61.0	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
61	サンタクロースを待ちながら	1960年	油彩／合板	30.5×40.7	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
62	来年までさようなら	1960年	油彩／合板	40.6×61.0	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)

第4章 美しき世界

番号	作品名	制作年	技法／材質	寸法 (cm)	所蔵
63	マサチューセッツ州 パークシャー・ヒルズ	1938年以前	アンドリュース・メルローズ によるクロモリトグラフの上に グランマ・モーゼスによる油彩	55.9×91.4	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
64	静けさにつつまれて	1941年	油彩／合板	36.8×49.5	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
65	濁ったミズーリ川の流れ	1940年以前	油彩／厚紙	30.5×40.7	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
66	雪の丘のふもとの家	1942年	油彩／合板	20.0×25.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
67	早春の農場	1945年	油彩／合板	40.6×65.4	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
68	暴風	1956年	油彩／合板	40.7×60.9	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
69	雷雨	1948年	油彩／合板	52.1×62.2	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
70	森の火事	1945年	油彩／合板	29.0×36.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
71	丘の秋	1954年	油彩／板	30.5×45.7	SOMPO美術館
72	秋	1950年	油彩／カンヴァス	30.0×40.5	ハーモ美術館
73	かぼちゃ	1959年	油彩／合板	40.0×60.0	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
74	曇りの日	1952年	油彩／合板	45.7×60.9	ホールマーク・アート・コレクション、ホールマーク・カース社、 カンザス・シティ、ミズーリ
75	丘を越えて行こう	1950年	油彩／板	28.6×40.0	ハーモ美術館
76	雪に閉じ込められて	1957年	油彩／合板	30.5×40.7	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
77	美しき世界	1948年	油彩／合板	50.8×61.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
78	白樺	1961年	油彩／合板	40.7×60.9	個人蔵(グランマ・モーゼス・プロパティーズ、ニューヨーク寄託)
79	オールド・ホーム	1961年	油彩／板	40.6×60.9	SOMPO美術館
80	虹	1961年	油彩／合板	40.6×61.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)

資料

番号	作品名	制作年	技法／材質	寸法 (cm)	所蔵
M-1	初個展「一農婦の描いたもの」内覧会招待状	1940年	書状	10.2×15.2	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-2	オットー・キャリア『グランマ・モーゼス: アメリカン・プリミティブ』ドライデン・プレス社	1946年刊	書籍		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-3	アンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス著、 オットー・キャリア編『私の人生』 ハーバー・アンド・ブラザーズ社	1952年刊	書籍		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-4	アンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス著、 オットー・キャリア編『私の人生』(ドイツ語版) ウルシュタイン書店	1963年刊	書籍		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-5	オットー・キャリア『グランマ・モーゼス その芸術と人』デュモン社芸術文庫	1979年刊	書籍		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-6	ファミリー・アルバム	1860-1960年	写真アルバム	14.0×18.4×8.9	ベニントン美術館
M-7	15歳のアンナ・メアリー・ロバートソン	1875年	写真	18.4×10.5	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-8	マーガレット・ホワイトサイド夫人より 譲られたクック・ブック	1840-1941年	冊子	21.0×17.8	ベニントン美術館
M-9	結婚写真	1887年	写真	各15.6×11.4	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)

番号	作品名	制作年	技法／材質	寸法 (cm)	所蔵
M-10	トーマス・サーモン・モーゼスと アンナ・メアリー・ロバートソンの結婚証明書	1887年11月9日付		33.7×27.3	ベニントン美術館
M-11	トーマスからアンナ・メアリーに贈られた『聖書』	1889年	書籍		ベニントン美術館
M-12	『私のお気に入りのパースデイ・ブック』	1945年	冊子		ベニントン美術館
M-13	絵を描くための作業テーブル	1773-1920年	木	68.6×114.3×80.0	ベニントン美術館
M-14	作品制作時に使用した椅子とクッション	1961年以前	椅子:木、籐 クッション: 絹、ベルベット、綿	74.3×54.6×48.3 10.2×48.3×43.2	ベニントン美術館
M-15	絵筆				個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-16	制作時に使用した絵具と瓶類				個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-17	孫のために作ったワンピース	1920-1922年	ボイル	50.8	ベニントン美術館
M-18	孫娘のために作った人形	1932年	綿	38.1×30.48×5.1	ベニントン美術館 (ゾイン・コロセウスとフランセス・ルドゥウィグによる寄贈)
M-19	手作りのポーチ	1960年以前	ウール毛糸	22.9×15.2	ベニントン美術館 (ゾイン・コロセウスとフランセス・ルドゥウィグによる寄贈)
M-20	自画像	1933年頃	油彩／油布	25.4×20.3	ベニントン美術館 (ゾイン・コロセウスとフランセス・ルドゥウィグによる寄贈)
M-21	十字架の形のしおり	1960年	ポリエステル、絹	12.7×7.6	ベニントン美術館
M-22	お気に入りの金のプレスレット	1961年以前	金メッキ	径6.2	ベニントン美術館
M-23	"ほぼいつも"着けていたカメオのブローチ	1950年	貝殻、真鍮	径4.5	ベニントン美術館
M-24a	飾櫛	1940-1961年	プラスチック	3.8×4.1×0.6	ベニントン美術館
M-24b	飾櫛	1940-1961年	プラスチック	4.1×7.0×1.3	ベニントン美術館
M-24c	飾櫛	1880-1910年	プラスチック	8.3×7.0×3.2	ベニントン美術館
M-25	ラヴェンダー・ピンクのショール	1950-1961年	ポリエステル毛糸	114.3×114.3	ベニントン美術館
M-26	手作りのキルト	1961年以前	綿	203.2×180.3	ベニントン美術館
M-27	クレメント・C・ムーア文、グランマ・モーゼス絵 『クリスマスのまえのばん』ランダム・ハウス社	1962年刊	書籍		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-28	『タイム』1953年12月28日号	1953年刊	雑誌		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-29	クリスマス・カード・セット ホールマーク社	1947年		外箱:3.8×17.8×14.6	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-30	Lプレコード・アルバム『グランマ・モーゼスと 一緒にのクリスマス』RCAヴィクター社	1958年リリース	Lプレコード	31.4×31.8	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-31	クリスマス・オーナメント ホールマーク社	1976年	ガラス	径7.6	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-32	クリスマス・オーナメント メトロポリタン美術館ミュージアム・ショップ	2007年	ガラス	径7.6	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-33	コレクター・プレート シラキウス・チャイナ社	1972年	陶器	径31.1	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-34	ディナーウェアより、ティーポット、ボウル、 グレイヴィーソース入れ クラウン・ポタリーズ社	1954年	陶器	ティーポット:16.5×24.1×11.4 ボウル:5.1×17.8×16.5 グレイヴィーソース入れ:8.9×17.8×7.6	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-35	布地 リヴァーデイル・ファブリックス社	1974年	綿	182.8×121.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-36	スカーフ	1960年頃	綿	63.5×66.7	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-37	子ども服	1950年代	綿	52.0	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-38	ハンドバッグ	1955年頃	綿	26.0×33.0×11.0 (持ち手:16.0)	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-39	スプライン・ショートニングの缶 リーヴァー・ブラザーズ社	1958年			個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-40	クッキー缶 オールステイト・カン社	2001年			個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-41	モーゼス作品がデザインされた切手	1969年5月1日発行	印紙		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-42	ジグソー・パズル スプリングボック社	1977年		外箱:3.8×36.2×28.9	個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-43	モーゼスのために作られた日本製扇子	1940-1961年	紙、竹	筒:36.2×径6.4 扇子:33.0	ベニントン美術館
M-44	丸木スマ署名入り『丸木スマ画集』大塔書店	1954年刊	書籍		ベニントン美術館
M-45	『グランマ・モーゼスの日』宣言書(複製)	1960年5月25日付			ベニントン美術館
M-46	アイゼンハワー大統領からの手紙(複製)	1960年8月27日付			ベニントン美術館
M-47	『ライフ』1960年9月19日号	1960年刊	雑誌		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-48	『私の人生:グランマ・モーゼス絵画展』 IBM芸術・科学ギャラリー	1960年	展覧会図録		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)
M-49	1960年度「人生は40歳から始まる賞」賞状	1960年12月13日付	賞状		ベニントン美術館
M-50	曾孫と100歳の誕生日を祝うフォーク・アート画家 グランマ・モーゼス、イーグル・ブリッジ、ニューヨーク コーネル・キャパ撮影(複製)	1960年		50.8×40.6	東京富士美術館
M-51	『少年少女のためのグランマ・モーゼス・ ストーリーブック』ランダム・ハウス社	1961年刊	書籍		個人蔵(ギャラリー・セント・エティエンヌ、ニューヨーク寄託)

2-4 ランス美術館コレクション

風景画のはじまり コローから印象派へ

会期：11月20日(土)～1月23日(日)

概要：フランスで風景画が隆盛を極めた19世紀、美術アカデミーでは風景画のコンクールが開催され、このジャンルに特化した実践書が相ついで刊行された。また、チューブ入り絵の具の開発と鉄道網の発達で戸外制作の流行をもたらし、ありのままの自然を描く前衛画家たちの登場を促した。

本展ではフランス北西部のランス美術館のコレクションを中心に据え、約70点の出品作を通して、新古典主義からバルビゾン派、印象派に至る近代風景画の展開をひも解いた。アシル＝エトナ・ミシャロン(1796-1822)、カミーユ・コロー(1796-1875)、ギュスターヴ・クールベ(1819-1877)、シャルル＝フランソワ・ドービニー(1817-1878)、ウジェーヌ・ブーダン(1824-1898)、クロード・モネ(1840-1926)、ピエール＝オーギュスト・ルノワール(1841-1919)など、19世紀の巨匠たちの名品を展示。とくに油彩画16点が一堂に会するコローの展示は本展最大のみどころとなった。

巡回先：北九州市立美術館、島根県立美術館、福井県立美術館、名古屋市美術館、SOMPO美術館、宮城県美術館、茨城県近代美術館、ひろしま美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡、中日新聞東海本社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協力：日本航空

企画・監修：ランス美術館 Exposition produite et gérée par le Musée des Beaux-Arts de la VILLE DE REIMS EN FRANCE.

企画協力：プレーントラスト

特別協賛：セキスイハイム東海

観覧料：一般 1,300円(1,100円)

大高生・70歳以上 900円(700円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：15,096人(有料10,955人、無料4,141人、有料率72.57%)

出品点数：74点

制作物：

1)チラシ

＜仕様＞紙：OKミュージカリーバーグロス 110kg

サイズ・数量：A4 60,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：OKミュージカリーバーグロス 135kg

サイズ・数量：B1 60部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR帯付き)



チラシ表面



チラシ裏面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

＜仕様＞230×290mm、147頁



カタログ表紙

カラー図版80点

参考図版(カラー9点、モノクロ16点)

カトリヌ・ドゥロ「ランス美術館のリニューアルについて」
カトリヌ・ドゥロ「印象派への道—ランス美術館所蔵のフランス絵画」
カトリヌ・ドゥロ「バルビゾン派」
カトリヌ・ドゥロ「収集家 アンリ・ヴァニエ」

古谷可由「印象派による戸外制作の意味—ヴァランシエンヌから、コロー、印象派へ—」
深谷克典「ランス美術館のコレクションに見る19世紀フランス風景画の展開」
農澤美穂子「コラム 19世紀における版画の役割—フランスの風景画の周辺—」

作家解説／関連略年表／関連地図／出品作品リスト

編集：(株)ブレントラス

編集協力：須賀百恵

制作：印象社

発行：「ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ」カタログ制作委員会©2020

発行年：2020年

普及ツール：

1)本展オリジナルミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

＜仕様＞紙：ジェントルフェイス 175kg

サイズ・数量：100×148mm 15,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

2)クリスマス特典

12月21日(火)から25日(土)の計5日間、16:00以降の観覧者各日先着30名に、当館オリジナルグッズをプレゼントした。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、9月7日放送。
- ・「コローにモネ 風景画の巨匠の作品が一堂に ランス美術館コレクション始まる」テレビ静岡『県内ニュース』、11月20日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、12月11日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ! 静岡情報館』、12月23日放送。
- ・「展覧会紹介」テレビ静岡『県内ニュース』、1月7日放送。
- ・「展覧会紹介」テレビ静岡『チョットいいタイム』、1月7日放送。

2)新聞

- ・「仏・ランス美術館コレクション「風景画のはじまり」展 変化する時間をとらえる目」『静岡新聞』、8月9日。
- ・三沢聖太郎「風景のはじまり 72点設置」『中日新聞』静岡版、11月18日。
- ・深尾茅奈美「「息のむ一瞬探して」あす開幕」『中日新聞』静岡版、11月19日。
- ・三沢聖太郎「フランス風景画歴史伝える70点」『中日新聞』静岡版、11月21日。
- ・深尾茅奈美「作品紹介1 戸外制作ブームに 第1章 コローと19世紀風景画の先駆者たち」『中日新聞』静岡版、12月1日。
- ・深尾茅奈美「作品紹介2 空や水面を繊細に 第2章 バルビゾン派」『中日新聞』静岡版、12月2日。
- ・深尾茅奈美「作品紹介3 エッチング再流行 第3章 画家＝版画家の誕生」『中日新聞』静岡版、12月4日。
- ・深尾茅奈美「作品紹介4 海景画家名を成す 第4章 ウジェーヌ・ブーダン」『中日新聞』静岡版、12月5日。

- ・深尾茅奈美「作品紹介5 真摯に自然を描く 第5章 印象主義の展開」『中日新聞』静岡版、12月7日。
- ・「風景画の隆盛や仏の都市を解説」『静岡新聞』12月7日。
- ・三沢聖太郎「19世紀 美の世界」『中日新聞』静岡版、12月17日。
- ・浅間哲平「ルソー×文学 サンドの小説 甦る舞台」『中日新聞』静岡版、1月6日。
- ・小林旬「モネ×音楽 ふたりのクロード」『中日新聞』静岡版、1月8日。
- ・三沢聖太郎「観覧1万人目は浜松の鈴木さん」『中日新聞』静岡版、1月8日。
- ・深尾茅奈美「カラー×美術 因習を離れ感性に重き」『中日新聞』静岡版、1月9日。



3)雑誌他

- ・「展覧会紹介」『美術展びあ2021(びあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『時空旅人』、2021年3月号増刊。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「19世紀フランスの近代風景画の展開を追う」『すごい美術館 2021-2022(びあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。
- ・「展覧会紹介」『潮』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊美術』、12月号。
- ・南伸坊「人間は風景を見る」『てんとう虫』、12月号。
- ・「19世紀フランス風景画を堪能」『美術の窓』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『美術展完全ガイド2022』。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『パンプキン』、1月号。
- ・「19世紀の巨匠による作品が一堂に集結」『リンネル』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『アートコレクターズ』、1月号。
- ・「ランス美術館の名品で学ぶ近代風景画の歴史」『美術展びあ 2021(びあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『中日ショッパー』、年末年始号。
- ・「展覧会紹介」『ホットペッパー』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』、第22665号。



4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Fashion Press」,「OBIKAKE」,「アートアジェンダ」,「インターネットミュージアム」,「ウェブ版「美術手帖」」,「ぴあポイント」,「静清信用金庫LINE配信」,「Kita-Colle ART」,「アットエス」



1月7日 来場者1万人達成

関連事業：

1)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡室内楽フェスティバル2021

ミュージアム・コンサート「ドビュッシーとラヴェル」

概要：フランスの近代風景画の変遷をテーマとした展覧会に合わせ、静岡音楽館AOIとの連携により開催。音楽という側面から近代フランスの文化に触れる機会を提供した。アンケートの「間近に聞けてよかった」「ミュージアムと合わせて久しぶりにリラックスした時間を過ごせて嬉しかった」といった感想から、クラシック音楽を気軽に楽しめる事業として高い満足感を与えたことが窺われる。

日時：11月28日(日)15:00－

会場：多目的室 **参加料：**1,000円 **参加者数：**50人

出演：湯原好恵(ヴァイオリン)、新井暁(ピアノ)

曲目：C.ドビュッシー：月の光(《ベルガマスク組曲》第3曲)／G.フォーレ：シシリエンヌ ト短調 op.78／M.ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌほか



2)講演会①「風景画の誕生とランス美術館」

概要：本展の図録にご寄稿いただいた名古屋市美術館参与の深谷克典氏による講演会。西洋美術史の概要とともに、ランス市やランス美術館の特色、フランスにおける風景画史の展開についてお話しいただいた。「ランスについて知識を増やすことができた」「風景画の変遷がよく分かった」等の感想が寄せられ、展覧会の内容理解を深めることのできる貴重な機会となった。

日時：12月5日(日)14:00－15:30

会場：多目的室 **参加者数：**44人

講師：深谷克典氏(名古屋市美術館参与)



3)講演会②「印象派による戸外制作の意味～ヴァランシエンヌから、コロー、印象派へ～」

概要：本展の図録にご寄稿いただいたひろしま美術館学芸部長の古谷可由氏による講演会。ヴァランシエンヌやコローなど、印象派以前に戸外制作を行った画家たちの実践をご紹介いただき、近代風景画の系譜について理解を促す内容であった。参加者アンケートでは「ルネサンスから印象派まで風景画の歴史をひも解く分かりやすい講義だった」といった好意的な感想が寄せられた。

日時：12月12日(日)14:00－15:30

会場：多目的室 **参加者数：**40人

講師：古谷可由氏(ひろしま美術館学芸部長)



4)当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①12月26日(日) ②1月15日(土)
いずれも14:00－

会場：多目的室 **参加者数：**計77人

参加料：無料



5)静岡県立大学との連携

講演会「県大×おまちゼミ 印象を語る」

※56頁を参照。

出品作品リスト

・図録番号34、35は静岡会場には出品されなかった。
・No.1～33、No.57～74はランス美術館所蔵、そのうちNo.2はフランス国立造形センター（文化省）より寄託。No.36～56は個人蔵。

第1章 コローと19世紀風景画の先駆者たち

Cat. No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
1	アシル＝エトナ・ミシャロン	水車小屋のある風景	1814-16年	油彩／カンヴァスに裏打ちされた紙
2	ジャン＝ヴィクトール・ベルタン	風景	1820年	油彩／カンヴァス
3	ジョルジュ・ミシェル	森のはずれの藁ぶき小屋(羊飼いの、砂州、農家)	1795年頃	油彩／カンヴァス
4	フランソワ＝オーギュスト・ラヴィエ	平原の老木	1868年	油彩／カンヴァス
5	ギュスターヴ・クールベ	レマン湖の岸边(急流)	1875年頃	油彩／カンヴァス
6	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	カーヴォ山	1825-28年頃	油彩／厚紙に貼られたカンヴァス
7	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	ヴィラ・メディチの噴水盤	1825-28年頃、1845年以降に加筆	油彩／カンヴァス
8	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	春、柳の木々		油彩／カンヴァス
9	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	岸边の小舟に乗る漁師	1860-65年	油彩／カンヴァス
10	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	川を渡る	1860-67年	油彩／カンヴァス
11	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	小川、ボーヴェ近郊	1860-70年	油彩／カンヴァス
12	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	水辺で洗濯する女性たち	1860-70年	油彩／カンヴァス
13	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	イタリアのダンス	1865-70年	油彩／カンヴァス
14	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	湖畔の木々の下のふたりの姉妹	1865-70年	油彩／カンヴァス
15	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	アルバーノ湖の思い出	1865-70年	油彩／カンヴァス
16	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	樹間の小道、春	1860-70年	油彩／カンヴァス
17	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	突風	1865-70年	油彩／カンヴァス
18	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	柳の近く、小舟で漁をする人	1870-73年頃	油彩／カンヴァス
19	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	ワニヨンヴィルの森の小道	1871年	油彩／カンヴァス
20	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	谷間を馬に乗って横切る人	1843年、1872-73年に加筆	油彩／カンヴァス
21	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	地中海沿岸の思い出	1873年頃	油彩／カンヴァス

第2章 バルビゾン派

Cat. No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
22	アントワーヌ＝ルイ・バリー	フォンテーヌブローの森の砂利道		油彩／カンヴァス
23	テオドール・ルソー	沼	1842-43年	油彩／カンヴァス
24	シャルル＝フランソワ・ドービニー	森の中の小川	1866年	油彩／板
25	シャルル＝フランソワ・ドービニー	風景、雨模様の空	1865年	油彩／板
26	ジュール・デュプレ	風車	1835年頃	油彩／板
27	ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の小さな沼		油彩／板
28	シャルル・ジャック	水飲み場の羊の群れ	1850-55年	油彩／板
29	シャルル・ジャック	放牧地の羊の群れ	1873年	油彩／カンヴァス
30	コンスタン・トロワイヨン	ノルマンディー、牛と羊の群れの帰り道	1856年	油彩／板
31	アンリ＝ジョゼフ・アルビニー	ヨヌヌの思い出、サン＝プリヴェからブレノーへの道	1885年	油彩／カンヴァス
32	アンリ＝ジョゼフ・アルビニー	晴天のサン＝プリヴェ	1886年	油彩／カンヴァス
33	アンリ＝ジョゼフ・アルビニー	夜明け	1890年	油彩／カンヴァス

第3章 画家＝版画家の誕生

Cat. No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
36	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	物思いにふける人(夕暮れ)	1854年	クリシェ・ヴェール(ガラス版印刷)／紙
37	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	イタリアの思い出	1863年	エッチング／紙
38	ポール・ユエ	フォンテーヌブロー近郊	1866年	エッチング／紙
39	レオドルーアン	ジロンド、ラカノー沼	1863年	エッチング／紙
40	シャルル＝フランソワ・ドービニー	夕暮れ	1859年	エッチング／紙
41	シャルル＝フランソワ・ドービニー	柵の中の羊の群れ、朝	1860年、刷り1862年	エッチング／紙
42	シャルル＝フランソワ・ドービニー	月の出	1861年	エッチング／紙
43	シャルル＝フランソワ・ドービニー	カラスのいる木	1867年	エッチング／紙
44	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ポール＝モランのセーヌ川	1876年	エッチング／紙
45	ヨハン・バルトルト・ヨンキント	オランダ、マースラン村からの眺め	1862年	エッチング／紙
46	オーギュスト・ドラートル	朝	1865年	エッチング／紙
47	グザヴィエ・ド・ダナンシュ	森の中	1863年	エッチング／紙
48	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	平原の羊の群れ		エッチング／紙
49	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	羊の小さな群れ		エッチング／紙

Cat. No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
50	テオフィル・ナルシス・ショヴェル	テルノワーズ川の岸辺にて	1863年	エッチング／紙
51	テオフィル・ナルシス・ショヴェル	アブルモン峡谷の十字路		エッチング／紙
52	フェリックス・ブラックモン	冬		エッチング／紙
53	ジャン＝アルフレ・デブロス	カエルの住む沼		エッチング／紙
54	タンクレード・アブラアム	ブルターニュ、ファイエーユの池	1863年	エッチング／紙
55	ジャン＝フランソワ・ミレー	野良仕事(『イリュストラシオン』誌 no.519)	1853年2月5日	印刷／紙
56-1	オーギュスト・ペクノー	『田園の風景画家』の扉絵	1876年	エッチング／紙
56-2	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	さびしい場所	1876年	エッチング／紙
56-3	アドルフ・ボルティエ	風景画家たち(レオン・ロワールに基づく)	1876年	エッチング／紙
56-4	レオボルド・デブロス	おしゃべりな女性たちの会話	1876年	エッチング／紙
56-5	レオボルド・デブロス	下校	1876年	エッチング／紙
56-6	レオン・オーギュスタン・レルミット	村にて	1876年	エッチング／紙

第4章 ウジェーヌ・ブーダン

Cat. No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
57	ウジェーヌ・ブーダン	水飲み場の牛の群れ	1880-95年	油彩／カンヴァス
58	ウジェーヌ・ブーダン	ボルドーの港、バカラン埠頭の眺め	1874年	油彩／カンヴァス
59	ウジェーヌ・ブーダン	ボルドーの港、シャルトロン埠頭の眺め	1875年	油彩／カンヴァス
60	ウジェーヌ・ブーダン	上げ潮(サン＝ヴァレリの入り江)	1888年	油彩／カンヴァス
61	ウジェーヌ・ブーダン	ベルク、出航	1890年	油彩／カンヴァス
62	ウジェーヌ・ブーダン	ベルク、船の帰還	1890年	油彩／カンヴァス
63	ウジェーヌ・ブーダン	トルーヴィルの浜辺		油彩／カンヴァス

第5章 印象主義の展開

Cat. No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
64	フェリックス・ジエム	コンスタンティノーブル(イスタンブール)	1890年以前	油彩／カンヴァス
65	スタニスラス・レビーヌ	トゥルヌ＝ブールスの草地	1878-82年頃	油彩／カンヴァス
66	スタニスラス・レビーヌ	マルヌ川の眺め	1878-82年頃	油彩／カンヴァス
67	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	ノルマンディーの海景		油彩／カンヴァス
68	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	風景	1890年頃	油彩／ 板に裏打ちされたカンヴァス
69	アルフレッド・シスレー	カーディフの停泊地	1897年	油彩／カンヴァス
70	カミーユ・ピサロ	ルーヴル美術館	1902年	油彩／カンヴァス
71	クロード・モネ	ペリールの岩礁	1886年	油彩／カンヴァス
72	アンリ・モレ	ケルレックの島の眺め(ヴェサン島)	1901年	油彩／カンヴァス
73	マクシム・モーフラ	日没の岩礁	1899年	油彩／カンヴァス
74	マクシム・モーフラ	モルビアン、キブロン島のしけ	1904年	油彩／カンヴァス

2-5 平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰

会期：2月5日(土)～3月27日(日)

概要：2022年に開創970年を迎える平等院は、平安時代中期に朝廷で絶大な権勢を誇った公卿・藤原道長が所有した宇治川畔の別荘を、永承7(1052)年に長男の頼通が寺院に改めて建立した京都屈指の名刹である。同寺は現世に極楽浄土を再現するべく壮大な伽藍が整備され、創建期に遡る現存唯一の遺構である鳳凰堂には、建築、彫刻、絵画、工芸と技術の粋が結集されている。定朝作の阿弥陀如来坐像(国宝)を安置した堂内は善美を尽くした装飾で華麗に荘厳され、優美で格調高い王朝貴族の美意識を今に伝えている。

平等院では近年、創建当初の姿の復元を目指し、鳳凰堂の修理や調査研究が進められている。本展では雲中供養菩薩像(国宝)に代表される鳳凰堂ゆかりの名品を中心に、調査の過程で新たに発見された貴重な作品、養林庵書院(重文)襖絵など塔頭の浄土院に伝わる知られざる寺宝の数々もかつてない規模で展観し、平等院が守り伝えてきた信仰と美の遺産をご覧いただいた。

巡回先：愛媛県美術館、新潟県立近代美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、読売新聞社、Daiichi-TV、平等院浄土院

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

特別協賛：しずおか焼津信用金庫／一般財団法人しずしん地域文化振興財団

観覧料：一般 1,400円(1,200円)
大高生・70歳以上 1,000円(800円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：19,215人(有料14,022人、無料5,193人、有料率72.97%)

出品点数：82点(参考出品7点を含む)

制作物：

1)チラシ

＜仕様＞紙：b7トラネクスト 99.0kg
サイズ・数量：A4 58,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：グラディアCoc 120.5kg (B1、B2)
ユーライト 135kg (B3)
サイズ・数量：B1 50部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR带つき)



チラシ表面



チラシ裏面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

＜仕様＞210×300mm、143頁

カラー図版153点

参考図版(カラー24点)

神居文彰「紡がれる軌跡」

石川登志雄「平等院と浄土院—その歴史と文化財」

作家解説／平等院略年表／出品目録
／主要参考文献



カタログ表紙

監修：石川登志雄(京都産業大学文学部教授)

編集・発行：読売新聞社

発行年：2021年

普及ツール：

1)音声ガイド

2)本展オリジナルミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内小学校高学年および中学校の全生徒と市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

＜仕様＞紙：アラベール スノーホワイト 200kg

サイズ・数量：95×154mm 40,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

3)撮影コーナーの設置

来館者のSNS等での情報発信を期待し、エントランスホールに撮影コーナーを設置した。



4)本展オリジナルポストカードをプレゼント

会期中、下記①～③の各対象者に本展出品作品《雲中供養菩薩像》のオリジナルポストカード(非売品・全4種)をプレゼントした。

①2月の平日に観覧した各日先着50名：ポストカードA

②3/1(火)～3/13(日)に観覧した各日先着50名：ポストカードB

③リピーター割引利用者：ポストカードC及びD

制作物：

◆ポストカード

＜仕様＞紙：マットコート 180kg

サイズ・数量：100×148mm 2,500部



ポストカードA



ポストカードB



ポストカードC



ポストカードD

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

主要広報記録：

1) テレビ・ラジオ

- ・「平等院展2/5(土)開幕」静岡第一テレビ『Dstyle』、1月28日放送。
- ・「信用金庫が高校に招待券を贈呈」静岡第一テレビ『県内ニュース』、1月29日放送。
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院」展始まる」静岡第一テレビ『県内ニュース』、2月5日放送。
- ・「平等院の住職が講演」静岡第一テレビ『県内ニュース』、2月6日放送。
- ・「世界遺産平等院「美の遺産」静岡で大公開」静岡第一テレビ『まると』、2月8日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブイン フォメーション』2月19日放送。
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院」展 見どころ」静岡第一テレビ『県内ニュース』、2月19日放送。
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院」展 見どころ」静岡第一テレビ『県内ニュース』、2月25日放送。
- ・「静岡市美術館で「平等院鳳凰堂と浄土院」展 世界文化遺産の名所に伝わる所蔵品を紹介 3月27日まで開催」静岡第一テレビ『まると』、2月25日放送。
- ・「高校生が「平等院鳳凰堂と浄土院」展を見学」静岡第一テレビ『県内ニュース』、2月26日放送。
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院」展 見どころ」静岡第一テレビ『県内ニュース』、3月5日放送。
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院」展 入場者1万人」静岡第一テレビ『県内ニュース』、3月12日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、3月13日放送。
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院」展 見どころ」静岡第一テレビ『県内ニュース』、3月14日放送。
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院」展 見どころ」静岡第一テレビ『県内ニュース』、3月21日放送。

2) 新聞

- ・「平等院展 静岡で開幕」『読売新聞』静岡版、2月6日。
- ・「平等院鳳凰堂の菩薩像など並ぶ」『静岡新聞』、2月6日。
- ・「平等院鳳凰堂展が好評開幕」『スポーツ報知』静岡版、2月6日。
- ・高橋哲也「浄土の姿 可憐な菩薩たち 上」『読売新聞』静岡版、2月11日。
- ・高橋哲也「多彩な祈り 受け止める 中」『読売新聞』静岡版、2月12日。
- ・高橋哲也「全面に金箔 大胆な構図 下」『読売新聞』静岡版、2月13日。
- ・「平等院企画展 後期始まる」『読売新聞』静岡版、3月2日。
- ・「平等院展 来場1万人突破」『読売新聞』静岡版、3月12日。
- ・「平等院展 来場者1万人」『スポーツ報知』静岡版、3月12日。

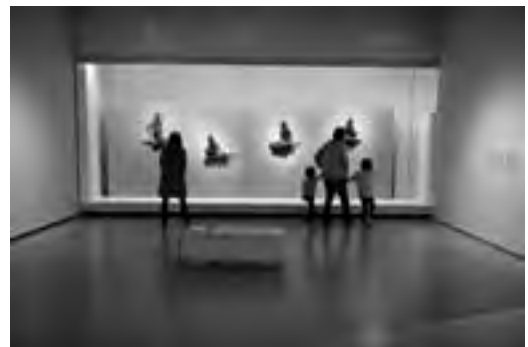
3) 雑誌他

- ・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。
- ・「絶対見逃せない美術展へGO」『日経トレンディ 日経おとなのOFF 2022年絶対に見逃せない美術展』。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、12月号。
- ・「平安彫刻を代表する名品から寺外初公開の寺宝まで!」『美術展完全ガイド2022』。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊なごや』、第471号。
- ・「展覧会紹介」『サライ』、2月号。

- ・「展覧会紹介」『にぎょう日本』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』、第22688号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『美術展びあ2022(びあMOOK)』。
- ・「平安時代の名宝と、現代画家 山口晃が出逢う」『目の眼』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『美Premium』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『小さな蕾』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『いけ花 龍生』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、4・5月号。
- ・「尊厳に満ちた美仏」『InRed』、4月号。
- ・「現代の絵師の筆から広がる日本的な絵画美と洒脱の世界」『Casa BRUTUS 特別編集』、3月号。
- ・「雲中供養菩薩像が県内初公開」『富士ニュース』、第22709号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、3月号。

4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Fashion Press」、「インターネットミュージアム」、「Kita-Colle ART」、「アートアジェンダ」、「歴史人WEB」、「YAHOO! JAPAN」、「じゃらんnet」、「ウェブ版「美術手帖」」、「ぴあポイント」、「アットエス」、「ハローナビしずおか」、「中日新聞プラス」、「旅と本のサイト「ほんのひととき」」、「ケイティコム今見られる全国のおすすめ展覧会100」





3月11日 来場者1万人達成

関連事業：

1) 講演会①「平等院に伝わる美といのちの軌跡」

概要：平等院住職の神居文彰氏を講師に招き、本展出品作品を中心に同寺が所蔵する数々の寺宝について多角的な視点から紹介いただくとともに、貴重な文化遺産を未来に継承するための取り組み等について語っていただいた。参加者からは「展覧会を観覧する前に講演を聴けたことで理解を深めることができた」「平等院の歴史とその宝物についてスライドを中心に魅力を解りやすく講演していただき勉強になった」と好評を得た。

日時：2月5日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**47人

講師：神居文彰氏(平等院住職)



2) 講演会②「平等院鳳凰堂の科学調査」

概要：独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所副所長の早川泰弘氏を講師に招き、同研究所が20年余りにわたり継続してきた平等院鳳凰堂の科学調査による研究成果についてお話しいただいた。参加者からのアンケートも好評で、平等院鳳凰堂ならびに本展出品作品に対する理解を深めることに繋がった。

日時：3月19日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**43人

講師：早川泰弘氏(東京文化財研究所副所長)



3) 当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①2月19日(土) ②3月6日(日)

いずれも14:00-

会場：多目的室 **参加者数：**計85人

参加料：無料



出品作品リスト

・欠番の作品は静岡会場には出品されなかった。
・展示期間の記載のない作品は通期展示。

プロローグ 平等院の開創

No／指定	作品名・作者等	時代・世紀・年	員数	材質・技法等	所蔵	展示期間
1	藤原頼通像	江戸時代(17-18世紀)	1軀	木造・彩色	浄土院	
2 京都府指定文化財	平等院旧起(仮名本) 良純親王 筆	江戸時代 寛永17(1640)年	1巻	紙本墨書	浄土院	巻替
3	平等院旧起(真名本)	江戸時代(17世紀)	1巻	紙本墨書	浄土院	巻替
4	平等院庭園跡出土瓦					
	-1 蓮華文軒丸瓦・唐草文軒平瓦	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	2点	瓦	平等院	
	-2 鬼面文軒丸瓦	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	1点	瓦	平等院	
	-3 鬼面文鬼瓦	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	1面	瓦	平等院	
5	大日如来仏手	平安時代(11世紀)	1点	木造	浄土院	
6	源氏物語 伝中院通古 筆	江戸時代(18世紀)	5帖(54帖のうち)	紙本墨書	京都府立 京都学・歴史館	頁替
7	源氏絵鑑帖 伝土佐光則 筆	江戸時代(16-17世紀)	2帖	紙本著色	宇治市源氏物語 ミュージアム	場面替

第1部 鳳凰堂の美

No／指定	作品名・作者等	時代・世紀・年	員数	材質・技法等	所蔵	展示期間
8 原品:国宝	鳳凰像 模造	昭和31(1956)年 原品:平安時代(11世紀)	一対	樹脂 原品:銅鑄・銀製鍍金	平等院	
9	鳳凰堂飾金具					
	-1 金銅宝相華唐草文透金具	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	1点	銅鍛製鍍金	浄土院	
	-2 金銅宝相華唐草文透金具	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	1点	銅鍛製鍍金	浄土院	
	-3 鉄地銅象嵌鍍金花先形金具	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	4点	鉄鍛製銅象嵌鍍金	浄土院	
参考1	鳳凰堂飾金具 復元 京都社寺鋳漆株式会社 作					
	-1 金銅宝相華唐草文透金具 復元	平成27(2015)年	1点	銅鍛製鍍金	個人蔵	
	-2 金銅宝相華唐草文透金具 復元	平成27(2015)年	1点	銅鍛製鍍金	個人蔵	
	-3 金銅花菱金具 復元	平成27(2015)年	2点	銅鍛製鍍金	個人蔵	
	-4 金銅六葉形釘隠 復元	平成27(2015)年	1点	銅鍛製鍍金	個人蔵	
10	鳳凰堂天蓋 復元模造(部分) 公益財団法人美術院 作	平成18-19(2006-07)年	1基	木造・螺鈿・漆箔・錫時絵	文化庁	
11 原品:国宝(附)	心月輪及び蓮台 模造 新納忠之介 作	明治38-40(1905-07)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	1面・1基	木造・彩色	奈良国立博物館 原品:平等院	
12	本尊阿弥陀如来坐像台座華盤納入品					
	-1 環珞片	平安時代(11-12世紀)	3点	金銅・螺鈿・漆・ガラス	平等院	
	-2 ガラス玉	平安時代(11-12世紀)	一括	カリ鉛ガラス、鉛ケイ酸塩ガラス	平等院	
	-3 ガラス壺残闕	平安時代(11-12世紀)	4片	カリ鉛ガラス	平等院	
	-4 截金ガラス 壺蓋	平安時代(11-12世紀)	1点	カリ鉛ガラス、金漆	平等院	
	-5 古銭	唐・南宋時代(8-13世紀)	4枚	銅鑄製	平等院	
	-6 螺鈿残闕	平安時代(11-12世紀)	3片	螺鈿	平等院	
参考2	截金ガラス壺蓋 復元 制作:藤原信幸、海藤博 化学分析:中井泉、白瀧絢子 監修:井上曉子 截金:小椋範彦、松崎森平	平成22(2010)年	1点	カリ鉛ガラス、金漆	平等院	
参考3	環珞 復元 ガラス玉:松田有利子 螺鈿細工:青木泰英 金銅金具:渡辺寛規 組立:あさのゆかり	平成22(2010)年	3点	金銅・螺鈿・漆・ガラス	平等院	
参考4	ガラス壺 復元 制作:藤原信幸、海藤博 化学分析:中井泉、白瀧絢子 監修:井上曉子	平成22-23(2010-11)年	1点 蓋部分1点	カリ鉛ガラス 宙吹き	平等院	
13 国宝	雲中供養菩薩像					
	-1 北1号	平安時代 天喜元(1053)年	1軀	木造・彩色・漆箔・截金	平等院	前期
	-2 北13号	平安時代 天喜元(1053)年	1軀	木造・彩色・漆箔	平等院	後期
	-3 南1号	平安時代 天喜元(1053)年	1軀	木造・彩色・漆箔	平等院	後期
	-4 南14号	平安時代 天喜元(1053)年	1軀	木造・彩色・漆箔	平等院	前期
14 原品:国宝	雲中供養菩薩像 模刻					
	-1 南20号 模刻 中村美緒 作	令和2(2020)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	1軀	木造 原品:木造・彩色・漆箔	浄土院 原品:平等院	
	-2 南21号 模刻 村上清 作	平成10(1998)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	1軀	木造 原品:木造・彩色・漆箔	平等院	

No／指定	作品名・作者等	時代・世紀・年	員数	材質・技法等	所蔵	展示期間
15 原品:国宝	鳳凰堂壁扉画(九品来迎図) 模写					
	-2 上品中生図 模写 林屋源之助、川面棧一 筆、落書:松元道夫 筆	昭和29-31(1954-56)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	3幅 原品:2面	紙本著色 原品:板絵著色	奈良国立博物館 原品:平等院	後期
	-3 上品下生図 模写 吉田友一、川面棧一 筆	昭和29-31(1954-56)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	2幅 原品:2面	紙本著色 原品:板絵著色	奈良国立博物館 原品:平等院	前期
	-4 中品上生図 模写 松元道夫 筆	昭和29-31(1954-56)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	2幅 原品:2面	紙本著色 原品:板絵著色	奈良国立博物館 原品:平等院	後期
	-5 中品中生図 模写 吉田友一、川面棧一 筆	昭和29-31(1954-56)年 原品:鎌倉時代(13世紀)	1幅 原品:1面	紙本著色 原品:板絵著色	奈良国立博物館 原品:平等院	前期
	-6 下品上生図 模写 入江波光 筆	昭和29-31(1954-56)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	2幅 原品:2面	紙本著色 原品:板絵著色	奈良国立博物館 原品:平等院	前期
	-8 日想観図 模写 吉田友一、中島宇一郎 筆	昭和29-31(1954-56)年 原品:平安時代 天喜元(1053)年	2幅 原品:2面	紙本著色 原品:板絵著色	奈良国立博物館 原品:平等院	後期
16	平等院鳳凰堂色紙形写	江戸時代 寛政11(1799)年	1巻	紙本墨書	浄土院	巻替
17	鳳凰堂壁扉画 想定復元模写					
	-1 中品中生図 想定復元模写 荒木恵信 筆	平成26(2014)年	1面	紙本著色	平等院	前期
	-2 日想観図 想定復元模写 荒木恵信 筆	平成24(2012)年	2面	紙本著色	平等院	後期
18	仏後壁・天人部分 復元模写 荒井経 筆、裁箔:並木秀俊、檜材調製:藤曲隆哉	平成25(2013)年	1面	板絵著色	個人蔵	
19	鳳凰堂内彩色 模写(柱) 山崎昭二郎 筆	昭和29-31(1954-56)年	4幅	紙本著色	平等院	前後期 各2幅
20	鳳凰堂内彩色 復元模写					
	-1 鳳凰堂内彩色 復元模写(南面柱内法長押上) 馬場良治 筆	平成30(2018)年	1面	紙本著色	平等院	
	-2 鳳凰堂内彩色 復元模写(来迎柱) 馬場良治 筆	平成16-18(2004-06)年	1面	紙本著色	文化庁	
	-3 鳳凰堂内彩色 復元模写(肘木・間斗束・卷斗) 馬場良治 筆	平成18-21(2006-09)年	1面	紙本著色	平等院	

第2部 祈りの心

No／指定	作品名・作者等	時代・世紀・年	員数	材質・技法等	所蔵	展示期間
21	聖観音立像	平安時代(11世紀)	1軀	木造	浄土院	
22 宇治市指定文化財	伝 帝釈天立像	平安時代(11世紀)	1軀	木造	浄土院	
23 宇治市指定文化財	不動明王及び二童子像	不動明王像:平安時代(12世紀)、 二童子像:江戸時代 正保3(1646)年	3軀	木造・彩色	平等院	
24	女神坐像	平安時代(11世紀)	1軀	木造・彩色	最勝院	
25	源頼政像	江戸時代	1軀	木造・彩色	浄土院	
26	源頼政像(最勝院本)	室町時代(15世紀)	1幅	絹本著色	最勝院	後期
27	源頼政像(浄土院本)	室町時代(15-16世紀)	1幅	絹本著色	浄土院	前期
29	阿弥陀三尊像(伝釈迦三尊像) 伝 張思恭 筆	高麗時代(14世紀)	1幅	絹本著色	浄土院	
30 京都府指定文化財	平等院修造勸進状 三条西実隆 筆	室町時代 明応9(1500)年	1巻	紙本墨書	浄土院	
31 京都府指定文化財(附)	平等院修造勸進状写	江戸時代(17世紀)	1巻	紙本墨書	浄土院	巻替
32	鳳凰堂古瓦 龍頭瓦	室町時代(15-16世紀)	1点	瓦	平等院	
33	地藏菩薩半跏像	南北朝時代(14世紀)	1軀	木造・漆箔	浄土院	
34	平等院参詣図	江戸時代(17-18世紀)	1面	紙本著色	浄土院	
36	平等院勸進状 松花堂昭乗 筆	江戸時代 寛永4(1627)年	1巻	紙本墨書	平等院	
37	紺紙金字仏説阿弥陀経 檀誉龍樞 筆	江戸時代 慶安5(1652)年	1巻	紺紙金泥書	浄土院	巻替
38	宇治平等院奉加帳 専誉俊童 筆	江戸時代 寛文10(1670)年	1帖	紙本墨摺・墨書	浄土院	頁替
39	鳳凰堂古瓦					
	-1 丸瓦	江戸時代 寛文10(1670)年	1点	瓦	平等院	
	-2 平瓦	江戸時代 寛文10(1670)年	1点	瓦	平等院	
	-3 巴文軒丸瓦・唐草文軒平瓦	江戸時代 寛文10(1670)年	2点	瓦	平等院	
40	阿弥陀来迎図 左近貞綱 筆	江戸時代(17世紀)	1幅	絹本著色	浄土院	
41	般若心経 近衛家熙 筆	江戸時代 宝永7(1710)年	1巻	紙本墨書	浄土院	
42	平等院明治修理帖 新納忠之介 筆	明治39(1906)年	1冊	紙本墨摺著色	平等院	頁替

第3部 守り、語り継ぐ―浄土院の収蔵品を中心に

No／指定	作品名・作者等	時代・世紀・年	員数	材質・技法等	所蔵	展示期間
43	平等院境内古図(浄土院本 甲図)	江戸時代(17世紀)	1鋪	紙本墨画	浄土院	
44 宇治市指定文化財	養林庵書院模絵					
	-1 籬に梅図 伝 狩野山雪 筆	江戸時代(17世紀)	4面	紙本金地著色	浄土院	
	-2 籬図 伝 狩野山雪 筆	江戸時代(17世紀)	4面	紙本金地著色	浄土院	
45	阿弥陀如来坐像	江戸時代(17世紀)	1軀	木造・漆箔・截金	浄土院	
46	靈元天皇繪旨	江戸時代 寛文9(1669)年	1通	紙本墨書	浄土院	
47 宇治市指定文化財	和漢朗詠集卷下断簡(平等院切) 伝 源賴政 筆	平安時代(12世紀)	1幅	紙本墨書	浄土院	
48	木彫像残闕	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	5点	木造	浄土院	
49	飛天像	平安・鎌倉時代(11-14世紀)	2軀	木造・漆箔	浄土院	
50	平等院型名号釜	桃山時代 天正16(1588)年	1口	鉄鑄製	浄土院	
51	宇治茶摘図 狩野洞春美信 筆	江戸時代(18世紀)	3幅	絹本著色	平等院	
52	通圓茶亭図 富岡鉄斎 筆	明治・大正時代(19-20世紀)	1幅	紙本墨画淡彩	浄土院	
53	当古来迎図 山口晃 筆	平成24(2012)年	14面	紙本墨画	浄土院	

3. 交流事業(教育普及事業)目次

3-1 交流事業

1) 鈴木康広 まばたきの葉 未来の待ち合わせ場所.....	46
2) 参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう！」.....	47
3) Shizubi シネマアワー	48
4) しずびオープンアトリエ.....	49
5) しずびチビッコプログラム.....	49
6) 暦とあそぶワークショップ.....	50
7) プレゼントワークショップ.....	51
8) 夜店市.....	52

3-2 連携事業

1) ミュージアム教室・展示解説.....	53
2) 生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」.....	54
3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業).....	55
4) 2020しずおか文化プロジェクト.....	55
5) その他施設との連携.....	56

3. 交流事業(教育普及事業)

3-1 交流事業

1) 鈴木康広 まばたきの葉 | 未来の待ち合わせ場所

概要：本事業は開館10周年記念事業として2020年度に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していたものである。感染症対策を十分にとり本年度実施に至った。

鈴木康広(1979年浜松市生まれ)は、日常の見慣れた事象に新鮮な切り口を与える作品によって、ものの見え方や世界の捉え方を問いかける活動を続けている。2010年の当館開館時に展示した《まばたきの葉》を11年ぶりに展示したほか、《まばたき証明写真》《自然を測るメトロノーム》など、鈴木の代表作全6点をエントランスホールで紹介した。本来の会期から1年7カ月の延期を経ての開催となったが、その延期した時間も作品やカタログに内包するなど、「時間」や「記憶」というテーマにより深く思いを巡らせる機会となった。

会期：11月30日(火) - 12月19日(日)

観覧者数：11,949人

制作物

◆チラシ

＜仕様＞紙：b7トラネクスト 99kg
サイズ・数量：A4 13,000部



チラシ表面



チラシ裏面

◆ポスター

＜仕様＞紙：片艶晒クラフト 60kg (B1)、
b7トラネクスト 99kg (B2)
サイズ・数量：B1 15部、B2 400部



B1ポスター：2020年制作ポスターに重ねて使用



B2ポスター

作品リスト：

1. 《まばたきの葉》2003年、紙、FRP、送風機、木材、ペンチ
 2. 《まばたきの葉》2010年、紙、映像
 3. 《まばたきの時計》2003/2021年、写真、モーター、アクリル樹脂
 4. 《まばたき証明写真》2011年、木材、アクリル樹脂、LED、ステンレスミラー、コンピューター、カメラ、プリンター
 5. 《自針と分針》2009/2019年、鉄、アクリル樹脂、液晶ディスプレイ、コンピューター、カメラ
 6. 《自然を測るメトロノーム》2017/2021年、ミクストメディア
- ※すべて作家蔵

主要広報記録：

◆新聞

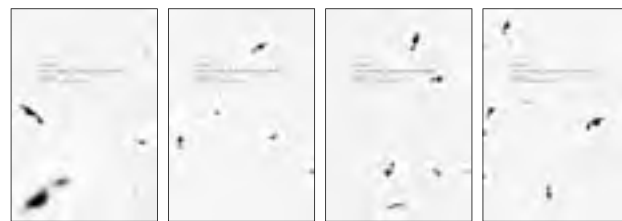
・橋爪充「開館時の空間再び まばたきの葉 展示」『静岡新聞』、11月30日。

◆ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「JDN」「福永紙工ホームページ」

カタログ：

＜仕様＞153×216mm、52頁



カタログ表紙(4種)

カラー図版23点

鈴木康広「まばたきの葉 | 未来の待ち合わせ場所」
伊藤鮎「《まばたきの葉》の記憶 / 静岡市美術館の11年」

作品データ / 出品歴 / 展覧会概要 / 出品リスト / 略歴

執筆：鈴木康広、伊藤鮎

翻訳：ベンジャー桂

編集・発行：静岡市美術館

発行：2022年



作品リスト

関連事業：

◆アーティストトーク

概要：作家本人から制作に対する考え方や、11年ぶりの展示に対する思いを聞ける貴重な機会となり好評を得た。終了時間を大幅に超えたが、「もっと聞いていたかった」など、作家独特の語り口調に参加者は熱心に聞き入っていたのが印象的だった。会期最終日での実施となったが、展示の締めくくりにふさわしい事業となった。

日時：12月19日(日)14:00～15:00

会場：多目的室 **参加者数：**51人

◆新聞

・「展示会の重要性触れる 現代美術作家鈴木さん 自身作品展でトーク」『静岡新聞』、12月20日。



2)参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう！」

10月2日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

3)Shizubi シネマアワー

(1)Shizubi シネマアワー vol.27

「語りかける庭」

概要：「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」展にあわせ、庭や植物に関連する映画を2本上映した。

日時：①5月15日(土) ②5月16日(日)
いずれも14:00-(開場13:30)

上映内容：

①『フラワーショウ!』(ヴィヴィアン・デ・コルシイ 監督/2014年/アイルランド/100分)

②『シェイクスピアの庭』(ケネス・ブラナー 監督/2018年/イギリス/101分)

会場：多目的室 参加者数：①51人 ②44人

参加料：いずれも500円

企画協力：(株)サールナートホール



告知チラシ(当館作成)

(2)Shizubi シネマアワー vol.28

「日々を、つむぐ。」

概要：「グランマ・モーゼス展-素敵な100年人生」にあわせ、日々の生活とクリエイティビティが交差する2本のドキュメンタリー映画を上映した。

日時：①10月30日(土) ②10月31日(日)
いずれも14:00-(開場13:30)

上映内容：

①『人生フルーツ』(伏原健之 監督/2016年/日本/91分)

②『アイリス・アプフェル! 94歳のニューヨーカー』(アルバート・メイズルス 監督/2015年/アメリカ/80分)

会場：多目的室 参加者数：①50人 ②52人

参加料：いずれも500円

企画協力：(株)サールナートホール



告知チラシ(当館作成)

4)しずびオープンアトリエ

概要：春・夏の年2回、開催中の展示会にあわせて実施する、鑑賞と創作が一体となったオリジナルワークショップ。地元の大学生による「学生ボランティア」が制作をサポートする。

(1)「別摺(べつずり)」でつくる山のポストカード」

概要：感染症対策として参加者数を各回10名に減らし、学生ボランティアの導入は取りやめた。今回は吉田博展出品作品の別摺による連作《カンチェンジャンガ》を参考に用意した4つの版を摺り重ね、山のカードを制作した。版には扱いやすく丸洗いのできるゴム版を使用することで、誰でも短時間で多色刷りが可能となり、十分な感染症対策も行うことができた。インクは20色用意、参加者は色の組み合わせを考えながら4枚摺り、別摺による効果を体感した。

日時：8月5日(木)～15日(日)

いずれも ①13:30－ ②15:00－

(各回約1時間、計10日間・20回実施)

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 計167人(各回定員10人)

参加料：200円(材料費含む)

主要広報記録：

◆新聞

・大橋弘典「親子で版画に挑戦」『静岡新聞』、8月12日。



(2)「縹綢彩色(うんげんさいしき)に挑戦！色鮮やかな文様を描こう」

2月12日から3月13日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

5)しずびチビッコプログラム

概要：2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。保護者は展示会を見学する。展示会毎に様々なアプローチで未就学児の表現の可能性に迫っている。市内保育支援団体の協力を得て実施。(保護者は要観覧券)

(1)「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」

概要：新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止が続いていた本プログラムの再開に合わせ、定員の削減、消毒可能なマット・飛沫防止シールドの導入をはじめ、進行や運営方法も見直し、様々な対策を講じて実施。キューガーデン展にちなみ出品作品の花の絵を鑑賞した後、透明シールに印刷した花の絵を横長の紙に貼り重ねパターンをつくった。一時保育スタッフも交えた入念なシミュレーション、スタッフの連携により安全に実施することができた。

日時：5月22日(土)①10:30～12:00 ②14:00～15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計18人

参加料：子ども1人につき500円

主要広報記録：

◆新聞

・池谷遥子「お花シール「ペタペタ」」「ボタニカルアート」園児が挑戦」『静岡新聞』、5月23日。



(2)「没後70年 吉田博展」

8月21日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(3)「グランマ・モーゼス展」

概要：定員の削減、消毒可能なマットや飛沫防止シールドの導入など、様々な対策を講じて実施。季節にあわせハロウィーンの伝統的な飾り物ジャック・オー・ランタンをオープン陶土で制作した。板状にのばした粘土を型紙に沿ってかぼちゃ型に切り、目や鼻は三角形の筒状の型で、口はヘラを用いてくり抜いた。アクリル絵の具で色鮮やかに着色した後、掻き落としの技法で自由に模様を描いた。陶芸特有の道具や技法にも親しむ機会となった。

日時：10月23日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計19人

参加料：子ども1人につき500円

主要広報記録：

◆新聞

・遠藤竜哉「粘土こねこね カボチャ飾り」『静岡新聞』、10月24日。



(4)「風景画のはじまり展」

概要：引き続き定員の削減、消毒可能なマットや飛沫防止シールドの導入など様々な対策を講じて実施。出品作品のクロード・モネ《ベリールの岩礁》を立体的に表した紙のジオラマ「立版古」を制作した。作品を前景・中景・後景に切り分ける前にワークシートにペンで書き込み見当をつけた。その後、箱の中に各パーツを配置し額縁を取りつけて仕上げた。作品の隅々までじっくりと鑑賞することにも繋がり保護者向けアンケートでも好評を得た。

日時：1月8日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計18人

参加料：子ども1人につき500円



(5)「平等院鳳凰堂と浄土院展」

3月20日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

6) 暦とあそぶワークショップ

概要：祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにするワークショップシリーズ。暦の本来の意味や歴史を学びながら制作する。

(1) 暦とあそぶワークショップvol.20

「節分の準備をしよう！」

1月29日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(2) 暦とあそぶワークショップvol.21

「ひな祭りの準備をしよう！」

2月23日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

7) プレゼントワークショップ

概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにするという行為に焦点を当て、記念日にあわせて実施。プレゼントを「つくって、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

(1) プレゼントワークショップvol.33

「母の日だ！親子でプレゼントをつくろう」

概要：小学生以上を対象としたワークショップとしては令和3年度実施1本目となる本事業に合わせ、安全性の高い飛沫防止パーテーションを導入。長時間の事業も安心して実施できる環境を整えた。今回はガラス絵で母の顔を表現した。制作前にはガラス絵の特徴や歴史を、多数の図版を紹介しながら解説し理解を深めた。制作方法はこれまで参加者を前に集め実演し伝えてきたが、密防止のため座席を移動せず、大型モニターを通して紹介した。65人と多数の申込みを得、当日は20代と60代の母子や、父と子の参加など、幅広い層の参加があった。

日時：5月9日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上の親子6組14人

参加料：1人につき500円(材料費含む)

主要広報記録：

◆新聞

・「お母さんありがとう 葵区 親子でガラス絵作り」『静岡新聞』、5月11日。



(2) プレゼントワークショップvol.34

「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」

概要：母の日同様、感染症対策に万全を期し、ガラス絵で父の顔を表現した。ガラス絵の制作方法は、裏面から通常とは逆の順番で描くなどやや難解であるため、手元を書画カメラで映しながら繰り返し実演した。顔のパーツなどは爪楊枝で描くことで表情の細部まで表現することができた。参加者は父の顔の特徴をよく観察しながら思い思いの作品を完成させた。本事業には母の日を上回る50組118名もの申込みがあり、関心の高さが窺えた。

日時：6月20日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上の親子8組18人

参加料：1人につき500円(材料費含む)

主要広報記録：

◆新聞

・鈴木侑季「パパの顔 ガラス絵に」『静岡新聞』、6月21日。



(3) プレゼントワークショップvol.35

「紙版画でクリスマスカードをつくろう！」

概要：今回は紙版凹版画(ドライポイント)に挑戦した。参加者は下絵を考えた後、専用の厚紙にボールペンでアウトラインを転写し、ニードルや紙やすりなどで細部を描画し製版した。インクは4色、紙は3種用意し、参加者は組み合わせを考えながら印刷した。武田氏の銅版画家としての専門的な知識と、当館で長年指導員を務めた双方の経験が活かされた丁寧で質の高い事業となった。大人編には中学生から70代まで幅広い層の申込みがあった。基本的な流れは子ども編と同様であるが、版にニードルで穴を開けたり、カッターで表面を削り取るなど、紹介する技法を増やすことで表現の幅を広げた。版は大・小2種、各2枚ずつ摺り、大人編ならではのクオリティの高い作品の数々が完成した。大人編は2年ぶりの実施となったが、再開を楽しみにしていた等の声が寄せられた。

日時：①子ども編 12月11日(土)

②大人編 12月12日(日)

いずれも 13:00-16:30

会場：いずれも ワークショップ室

対象・参加者数：①小学生14人 ②中学生以上14人

参加料：いずれも 1人につき500円(材料費含む)



8) 夜店市

概要：中央商店街恒例のイベント「夜店市」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となった。

3-2 連携事業

1)ミュージアム教室・展示解説

概要：当館では、学校や生涯学習センター等からの団体を対象にして、展覧会担当学芸員が直接解説する鑑賞教室に力を入れている。幼稚園・保育園児～高校生については、子どもたちと当館学芸員等が対話形式で展覧会鑑賞を行う「ミュージアム教室」として実施。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう促すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。大学・専門学校生、および生涯学習センター・生涯学習交流館等の事業参加者については、展覧会の見どころを中心とした「展示解説」として実施している。



対象：＜ミュージアム教室＞幼稚園・保育園児～高校生
＜展示解説＞大学生・専門学校生～一般

実施内容・所要時間(共通)：

スタッフの解説30分＋自由鑑賞30分 計60分

利用状況：

◆ミュージアム教室利用状況

	幼稚園・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校 特別支援学級		児童クラブ 等		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	0	0	0	0	3	55	2	56	0	0	0	0	5	111
没後70年 吉田博展	0	0	0	0	5	145	4	63	0	0	0	0	9	208
生誕160年記念 グランマ・モーゼス展—素敵な100年人生	0	0	1	35	4	44	3	29	0	0	1	14	9	122
ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	0	0	1	18	3	63	7	130	1	3	0	0	12	214
平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	0	0	0	0	4	123	2	23	0	0	0	0	6	146
計	0	0	2	53	19	430	18	301	1	3	1	14	41	801

計 41団体 801人

◆展示解説利用状況

	大学・専門学校		生涯学習センター 生涯学習交流館		その他		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	1	15	2	56	0	0	3	71
没後70年 吉田博展	0	0	1	20	1	34	2	54
生誕160年記念 グランマ・モーゼス展—素敵な100年人生	0	0	1	10	1	27	2	37
ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	1	56	1	46	0	0	2	102
平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	0	0	1	18	0	0	1	18
計	2	71	6	150	2	61	10	282

計 10団体 282人

2)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業 「しずび出前講座」

概要：「しずび出前講座」は、開催中の展覧会にかかわらず、生涯学習センターに当館学芸員を講師として派遣し、座学やワークショップを実施する連携講座。本年度は11講座を実施した。

①西部生涯学習センター

「英国キューガーデンとボタニカルアート」

概要：「キューガーデン 英国王室が愛した花々」にあわせ実施。1回目の講座では展覧会の見どころのほか、ボタニカルアートの歴史を紹介した。2回目は鑑賞のポイントを紹介した後、各自で展覧会を鑑賞した。参加者からは「講座説明を受けた後に鑑賞するのは深みが出て良い」と好評だった。

日時：①5月12日(水) ②5月19日(水)

いずれも13:30-15:00

会場：①西部生涯学習センター ②当館 **参加者数：**計57人

講師：伊藤 鮎

②南部生涯学習センター

「英国キューガーデンとボタニカルアート」

概要：「キューガーデン 英国王室が愛した花々」にあわせ実施。1回目の講座では展覧会の見どころのほか、ボタニカルアートの歴史を紹介した。2回目は鑑賞のポイントを紹介した後、各自で展覧会を鑑賞した。受講者の約8割が女性で、「日頃、見学だけでは物足りなく感じていたので良い機会だった」と満足度も高かった。

日時：①5月18日(火) ②5月25日(火)

いずれも13:30-15:00

会場：①南部生涯学習センター ②当館 **参加者数：**計50人

講師：伊藤 鮎

③北部生涯学習センター

「判じ絵―江戸を絵解く」

概要：江戸後期から末期に登場した判じ絵は、絵を読み解き答えを出すいわば“なぞなぞ”で、広く庶民に親しまれた。前半では判じ絵を読み解くために必要な判じ絵のルールや実践、後半では判じ絵を入れた喜多川歌麿の美人画や、役者絵に登場する判じ絵等から江戸時代の歴史、文化を紹介した。新型コロナウイルス感染防止対策として対話は難しいが、聴講者が傍聴一方ではなく、参加して絵解きを楽しめるよう心掛けた。

日時：5月28日(金)14:00-16:00

会場：北部生涯学習センター **参加者数：**19人

講師：大石 沙織

④高齢者学級みのり大学 南部学級での講義

「江戸絵画でめぐる東海道の旅」

概要：江戸時代に描かれた東海道の絵画を、前半は江戸時代の東海道の成立から、富士三保松原図、そして東海道図屏風の特徴など、後半は『東海道名所図会』や『東海道中膝栗毛』に影響を受け登場する葛飾北斎や歌川広重の『東海道五十三次』の内容を比較しながら紹介した。富士山や駿河の名所など、静岡になじみ深い場所を中心に解説することで、参加者の興味を引くよう心掛けた。参加者からは「楽しかった」など好評な意見をもらった。

日時：6月23日(水)10:00-11:30

会場：南部生涯学習センター **参加者数：**52人

講師：大石 沙織

⑤高齢者学級みのり大学 長田学級での講義

「武将が愛した名刀」

概要：刀剣に関する知識・関心がある参加者ばかりではなかったことから、導入として刀剣やその制作技法に由来する諺や慣用句を例示し、鑑賞時の着眼点等についてわかりやすく解説するよう配慮した。その上で古代の日本武尊から近世初頭の徳川家康に至るまで、静岡にゆかりのある武将を中心に歴史上の人物の愛刀をスライドで画像を提示しながら紹介した。

日時：6月25日(金)9:30-11:30

会場：長田生涯学習センター **参加者数：**58人

講師：高橋 哲也

⑥薬科生涯学習センター

「風景画の巨匠 吉田博の冒険人生」

概要：1回目の座学では吉田博の人生を中心に紹介し、2回目のスライドトークでは作品鑑賞のポイントや多色摺木版の技法を中心に講義した。参加者からは「作品の実物を前にしてのギャラリートークでなく残念」との声があったが、感染症対策のため座学形式にしていることを説明した。

日時：①6月29日(火) ②7月6日(火)

いずれも10:00-11:30

会場：①薬科生涯学習センター ②当館 **参加者数：**計40人

講師：山本 香瑞子

⑦高齢者学級みのり大学 薬科学級での講義

「絵本の絵を読む」

概要：絵本の絵の魅力について、高齢者層にも馴染み深いロングセラー絵本を例に多角的に紹介した。登場人物の心理描写や細部に描かれたサイドストーリー、独特の色合いや画材の質感など、絵本の絵には物語を視覚化しただけではないたくさんの魅力がある。それらを絵の細部をじっくり見ながら伝えることができるよう、スクリーンに絵本を大写しにし、読み聞かせを交えながら解説した。

日時：7月8日(木)9:30-11:30

会場：薬科生涯学習センター **参加者数：**44人

講師：安岡 真理

⑧高齢者学級みのり大学 東部学級での講義

「江戸絵画でめぐる東海道の旅」

概要：江戸時代に描かれた東海道の絵画を、前半は江戸時代の東海道の成立から、富士三保松原図、そして東海道図屏風の特徴など、後半は『東海道名所図会』や『東海道中膝栗毛』に影響を受け登場する葛飾北斎や歌川広重の『東海道五十三次』の内容を比較しながら紹介した。富士山や駿河の名所など、静岡になじみ深い場所を中心に解説することで、参加者の興味を引くよう心掛けた。

日時：7月13日(火)10:00-11:30

会場：東部生涯学習センター **参加者数：**61人

講師：大石 沙織

⑨高齢者学級みのり大学 美和学級での講義

「江戸絵画でめぐる東海道の旅」

概要：江戸時代に描かれた東海道の絵画を、前半は富士三保松原図、そして東海道図屏風の特徴を中心に、後半は『東海道名所図会』や『東海道中膝栗毛』に影響を受け登場する葛飾北斎や歌川広重の『東海道五十三次』等を比較しながら紹介。富士山や駿河の名所など、静岡になじみ深い場所を中心に解説し、参加者の興味を引くよう心掛けた。新型コロナウイルス感染拡大により9/15から1/12に延期した。

日時：1月12日(水)13:30-15:30

会場：美和生涯学習センター **参加者数：**38人

講師：大石沙織

⑩高齢者学級みのり大学 西部学級での講義

「竹久夢二と大正期の日本画 美人画をキーワードに」

概要：竹久夢二の画歴と、静岡市美術館所蔵品を軸とした代表的な作品を紹介し、出版界から台頭した独特の立場にある画家であること、特に女性像に特徴があることを示した。加えて、同時代の日本画において美人画と呼ばれるジャンルが興隆したことを解説し、夢二の作風との比較を試みた。参加者からは、作品よりも夢二の人生についてより詳しく聞きたいとの意見が寄せられたため、今後の参考とした。

日時：1月20日(木)9:30-11:30

会場：西部生涯学習センター **参加者数：**57人

講師：山本香瑞子

⑪西奈生涯学習センター

「王朝の美・平等院鳳凰堂」

概要：1回目の座学では平等院が創建された平安時代の文化史ならびに浄土信仰を中心とする思想史について解説し、鳳凰堂が建立された歴史的背景を明らかにするとともに鳳凰堂内に遺された彫刻、絵画、工芸作品について美術史の観点から魅力を伝えた。そして2回目は展覧会の見どころについて出品作品を通して解説し、その上で展覧会を鑑賞していただいた。

日時：①2月18日(金) ②2月25日(金)

いずれも14:00-15:30

会場：①西奈生涯学習センター ②当館 **参加者数：**計36人

講師：高橋哲也

3)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)

概要：JR静岡駅前に位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館が特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を越え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施する事業。本年度は2事業を実施した。

(1)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

科学教室「研究者と学ぼう！植物の仲間わけ」

概要：ふじのくに地球環境史ミュージアムの早川宗志氏を講師にむかえ、花の観察を通して植物の構造や分類について学んだ。ラン科、ユリ科、バラ科、キク科の花を分解してみることで、それぞれの違いや共通点を確認することができた。実際の植物を観察するという、当館では保存環境の観点から実現が難しい事業も連携することで可能となり、異なる専門性を有する財団ならではの試みとなった。

日時：5月30日(日)10:00-12:00

会場：静岡科学館る・く・る **参加者数：**10人

講師：早川宗志氏(ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)

(2)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡室内楽フェスティバル2021

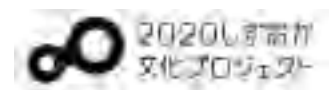
ミュージアム・コンサート「ドビュッシーとラヴェル」

※35頁を参照

4)2020しずおか文化プロジェクト

概要：2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典だけでなく、文化の祭典でもあり、世界中の注目が集まっている。当館を指定管理する(公財)静岡市文化振興財団でも2020年に向け、これまで培ってきた文化に関する様々な知見やネットワークを活かし、文化振興のみならず、文化による地域や社会課題への対応についても取り組むこととし、「しずおか文化」の発信「次世代育成と新たな文化芸術の創造」あらゆる人の参加・交流と地域の活性化」という3点を主軸にした文化プログラムを展開している。本年当館では1事業を開催した。

ロゴマーク：



(1)2020しずおか文化プロジェクト/静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡室内楽フェスティバル2021

ミュージアム・コンサート「ドビュッシーとラヴェル」

※35頁を参照

5)その他施設との連携

(1)Kids Art Project Shizuoka

概要：令和3年4月～令和4年3月末まで、「Kids Art Project Shizuoka 実行委員会」に参画、県内の小学生全児童に参加各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付の「しずおかミュージアムパスポート」を配布した。

実施期間：4月1日(木)～3月31日(木)

対象：静岡県内の全小学生(538校・約18万人)

加盟館：静岡県内の美術館・博物館 計38館

利用者数(当館分のみ)：389人



(2)ふじのくに連携

ボタニカルアート講座(水彩画)

概要：「キューガーデン展」にあわせ、ふじのくに地球環境史ミュージアムが主催した連携イベント。生花を観察しながら講師が用意した花の下絵に水彩で丁寧に色付けしていくことで、ボタニカルアートの持つ緻密さを体感により理解する機会となった。植物標本などを収蔵・展示する自然科学専門の博物館と連携することで、科学的視点から描かれたボタニカルアートを紹介する本展の内容を、より深く理解する場を提供することができた。

日時：4月29日(木・祝)14:00～15:30

会場：ふじのくに地球環境史ミュージアム **参加者数：**15人

講師：藤森有規子氏(ふじのくに地球環境史ミュージアムサポーター)

(3)静岡県立大学との連携

講演会「県大×おまちゼミ 印象を探る」

概要：「風景画のはじまり」展にあわせ、静岡県立大学との共催で開催したイベント。19世紀のフランス風景画の展開を紹介するという展覧会の内容に関連して、フランス文学の専門家である同大学の浅間哲平氏と、本展の担当学芸員が講演を行った。浅間氏が文学を切り口として当時の時代背景や文化的状況について説明した後、学芸員がその時代に描かれた風景画について解説を行った。フランス文化の魅力を多面的に伝える充実した内容になった。

日時：12月18日(土)14:00～15:30

会場：多目的室 **参加者数：**56人

講師：浅間哲平氏(静岡県立大学講師)、深尾茅奈美(当館学芸員)

4. 受託事業等

4-1 受託事業等

1) 「竹久夢二」展

概要：静岡市美術館が所蔵する竹久夢二作品(志田コレクション)を、夢二と同時代に建てられた国登録有形文化財の旧五十嵐歯科医院(旧五十嵐邸)を会場に4日間の会期で展示公開してきたが、新型コロナウイルス感染症対策上の理由から当館多目的室で開催した。温湿度や照度など徹底した維持管理のもと、肉筆画5点、書跡2点、版画11点、装丁本14点を展覧して当館所蔵の夢二作品の魅力を発信。会期中は天候に恵まれず、また緊急事態宣言が発出されたが多くの来場があった。アンケートには好意的な意見が多く寄せられ、夢二作品に対する市民の関心の高さが窺えた。

会期：8月17日(火)～22日(日)

会場：当館多目的室

来場者数：3,661人

展示内容：志田コレクションより

1. 竹久夢二《木に寄る女》大正4(1915)年頃、絹本着色
2. 竹久夢二《嵐峡初秋》昭和初期、絹本着色
3. 竹久夢二《春浅き》昭和初期、絹本墨書
4. 竹久夢二《うしろ姿》大正中期、紙本着色
5. 竹久夢二《寒燈》大正中期、紙本着色
6. 竹久夢二《竹久方しの宛書簡》大正7(1918)年、紙・墨書
7. 竹久夢二《羽衣(セノオ楽譜原画)》大正13(1924)年頃、紙本着色
8. 竹久夢二装画 澤田柳吉作曲《セノオ楽譜12番 お江戸日本橋》大正13(1924)年 6版、紙・石版
9. 竹久夢二装画 マイエルバーヤ作曲 二見孝平訳詞《セノオ楽譜128番 歌劇プロフェット あゝわが子よ》大正13(1924)年 2版、紙・石版
10. 竹久夢二装画 藤井清水作曲 永田龍雄作詞《セノオ楽譜169番 影ふめば》大正9(1920)年 初版、紙・石版
11. 竹久夢二装画 藤井清水作曲 永田龍雄作詞《セノオ楽譜175番 消えてあとなき》大正14(1925)年 3版、紙・石版
12. 竹久夢二装画 ワグネル作曲 妹尾幸陽訳詞《セノオ楽譜228番 歌劇タンホイゼ 順礼の合唱》大正13(1924)年 2版、紙・石版
13. 竹久夢二装画 土屋平三郎作曲 佐竹草迷宮作詞《セノオ楽譜251番 陶物師》大正11(1922)年 初版、紙・石版
14. 竹久夢二装画 宮原禎次作曲 北原白秋作詞《セノオ楽譜377番 民謡 おりてくれるな》大正13(1924)年 初版、紙・石版
15. 竹久夢二装画 山田耕作編曲《セノオ楽譜390番 明治天皇奉頌唱歌》大正13(1924)年 初版、紙・石版

16. 竹久夢二装画 リスト作曲 近藤朔風作詞《セノオ楽譜416番 花かそもなれ》大正15(1926)年 初版、紙・石版
17. 竹久夢二装画 関屋敏子作曲《セノオ楽譜441番 日本民謡 蛭来い》大正15(1926)年 初版、紙・石版
18. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 春の巻』明治43(1910)年 3版、書籍
19. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 夏の巻』明治43(1910)年 初版、書籍
20. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 秋の巻』明治43(1910)年 2版、書籍
21. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 冬の巻』明治43(1910)年 初版、書籍
22. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 旅の巻』明治43(1910)年 2版、書籍
23. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 野に山に』明治44(1911)年 初版、書籍
24. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 都会の巻』明治44(1911)年 初版、書籍
25. 竹久夢二著・装丁『桜さく島 春のかはたれ』明治45(1912)年 2版、書籍
26. 竹久夢二著・装丁『桜さく島 見知らぬ世界』明治45(1912)年 初版、書籍
27. 竹久夢二著・装丁『昼夜帯』大正2(1913)年 初版、書籍
28. 竹久夢二著・装丁『草画』大正3(1914)年 初版、書籍
29. 竹久夢二著・装丁『縮刷 夢二画集』大正5(1916)年 5版、書籍
30. 竹久夢二著・装丁『山へよする』大正8(1919)年 初版、書籍
31. 竹久夢二著・装丁『露地の細道』大正8(1919)年 2版、書籍
32. 竹久夢二原画《絵封筒・祝儀袋貼込帖》大正～昭和前期、紙・木版

計32点

主要広報記録：

◆新聞

- ・「「竹久夢二の世界紹介」静岡市美術館無料展示」『静岡新聞』、8月18日。
- ・「志田さん(蒲原)収集の竹久夢二展開く一静岡で一」『庵原新聞』、8月28日。



2) 静岡市清水文化会館マリナート常設展示

「平野富山ー清水が生んだ彩色木彫の名匠」

概要：今年度で10年目となる静岡市清水文化会館マリナートにおける、彩色木彫家・平野富山の常設展示。静岡市が収蔵する富山作品(彩色木彫35点、塑像等約35点、書2点)と富山の収集品454件を活用し、各期テーマを設けて年3回の展示を行った。また、それに係る保存管理、調査研究もあわせて実施した。

テーマおよび会期：

【第1期】富山と千里 7月－10月

【第2期】稚児びな一挙公開 11月－2月

【第3期】平野富山と平櫛田中 3月－6月

会場：静岡市清水文化会館マリナート 1階ギャラリー隣
平野富山常設展示コーナー



第2期



第1期



第3期

作品リスト：

【第1期】テーマ：富山と千里

第1期は富山と千里と題し、父・平野富山の作品と、父と同じく彩色木彫家として活動する次男・平野千里の作品を紹介した。故・中曽根元総理が手元におき、高野山福智院も所蔵する富山の《聖徳太子二歳像》のほか千里の《不動明王》など、彩色木彫による神仏像に加え、昭和40年代に富山がイタリアにいる千里を訪ねた際に現地で制作したブロンズレリーフ《顔》も出品し、父と子の交流の一端にも触れた。

1. 平野富山《天満大自在天神》昭和54年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《聖徳太子二歳像》昭和49年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《吉祥天》昭和47年、彩色木彫、静岡市
4. 平野千里《不動明王半跏像》平成7年、彩色木彫、静岡市
5. 平野千里《矜羯羅童子》彩色木彫、静岡市
6. 平野千里《制吒迦童子》平成6年、彩色木彫、静岡市
7. 平野富山《顔》昭和40年代、ブロンズレリーフ、静岡市

【第2期】テーマ：稚児びな一挙公開

第2期は、2018年に静岡市が新たに収蔵した平野富山の稚児雛を紹介した。内裏雛、官女や五人囃、隋臣、仕丁、舞楽人形が稚児の姿で表され、桜橘を加えた総数19点の豪華な揃いもので、いずれも富山初期の号「鍔国」の刻銘や墨書が確認できる貴重な品である。彫技・彩色ともに富山の早熟した才能が窺い知れる初期作品を披露するまたとない機会となった。

1. 平野富山《稚児雛》昭和初期、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《神馬》昭和52年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山(敬吉)《楽園》※第七回新日展出品、昭和39年、FRP、静岡市

【第3期】テーマ：平野富山と平櫛田中

第3期は、平野富山が生涯の師と仰いだ日本近代木彫の巨匠・平櫛田中との関係に注目し、富山の彩色木彫より、田中の影響を感じさせる主題の《鏡獅子》《良寛》を展示した。また、富山が彩色を担当した平櫛田中《鏡獅子》(東京国立近代美術館蔵・国立劇場展観)などの作品図版やその彩色工程も資料として紹介し、富山が苦心を重ねた彩色の舞台裏にも迫った。

1. 平野富山《福寿恵比寿尊像》昭和47年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《福寿大黒天尊像》昭和47年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《良寛》昭和55年、彩色木彫、静岡市
4. 平野富山《鏡獅子》昭和55年、彩色木彫、静岡市
5. 平野富山(敬吉)《女》※第3回新日展出品、昭和35年、FRP、静岡市

5. 調査研究・研修受入等

5-1 調査研究

令和3年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

●田中豊稲

＜館外での活動＞

- ・静岡市文化振興審議会委員
- ・文化庁美術品国家補償制度部会会長

●高市純行

＜展覧会カタログ等編集・執筆＞

- ・「なにわの企業が集めた絵画の物語～コーポレート・アート・コレクション見聞録」カタログ編集(5月1日発行：一般社団法人関西経済同友会)

＜雑誌・新聞等寄稿＞

- ・毎日新聞創刊150年記念特集「ファン広げた 戦後の展覧会」企画構成・インタビュー『毎日新聞』、3月8日。

＜その他＞

- ・文化庁・ミュージアム・マネジメント研修受講(東京、12月15日～17日)

●山本香瑞子

＜館外での活動＞

- ・東海大学海洋学部環境社会学科「美術・デザイン史」非常勤講師(4月-7月)

＜雑誌・新聞等寄稿＞

- ・山本香瑞子「米国で足場固め 渡欧」吉田博展 美の旅人の軌跡」上』『中日新聞』静岡版、7月1日。
- ・山本香瑞子「山を愛した」絵の鬼」吉田博展 美の旅人の軌跡」中』『中日新聞』静岡版、7月3日。
- ・山本香瑞子「木版画 創作の集大成」吉田博展 美の旅人の軌跡」下』『中日新聞』静岡版、7月4日。
- ・山本香瑞子「作品紹介1 剣岳の一瞬捉える」日本アルプス十二題 剣山の朝」1926年』『中日新聞』静岡版、8月8日。
- ・山本香瑞子「作品紹介2 彫りと摺りに冴え」富士拾景 朝日」1926年』『中日新聞』静岡版、8月9日。
- ・山本香瑞子「作品紹介3 水の中の鯉 臨場感」池の鯉」1926年』『中日新聞』静岡版、8月11日。
- ・山本香瑞子「作品紹介4 同じ版木で朝と夜」タジマハルの朝霧 第五」1932年、「タジマハルの夜 第六」1932年』『中日新聞』静岡版、8月12日。
- ・山本香瑞子「作品紹介5 最も多い96度摺り」陽明門」1937年』『中日新聞』静岡版、8月13日。
- ・山本香瑞子「溶け合う和洋、今昔 竹久夢二」草に憩う女」アートの扉 1』『毎日新聞』(夕刊)、1月31日。

●高橋哲也

＜館外での活動＞

- ・静岡県博物館協会事業推進グループ委員
 - ・磐田市芸術祭工芸部門審査(10月12日)
 - ・駿府城公園歴史カフェ講座「いまさら聞けない！刀剣を学ぶ」講師(3月17日)
- ＜展覧会カタログ等編集・執筆＞
- ・「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」カタログ編集、作品解説執筆。

＜雑誌・新聞等寄稿＞

- ・高橋哲也「浄土の姿 可憐な菩薩たち 上」『読売新聞』静岡版、2月11日。
- ・高橋哲也「多彩な祈り 受け止める 中」『読売新聞』静岡版、2月12日。
- ・高橋哲也「全面に金箔 大胆な構図 下」『読売新聞』静岡版、2月13日。

●伊藤鮎

＜館外での活動＞

- ・シンポジウム「循環と再生の詩学－美術ならざるものの挑発－」登壇(11月13日)

＜展覧会カタログ等編集・執筆＞

- ・「鈴木康広 まばたきの葉 | 未来の待ち合わせ場所」カタログ編集、『《まばたきの葉》の記憶／静岡市美術館の11年」執筆、『まばたきの葉』作品データ／出品歴編集。

＜その他＞

- ・「浜松野外美術展(1981-1987)アーカイブ」目録作成。

●太田紗世

＜館外での活動＞

- ・常葉大学こども健康学科「静岡市美術館における未就学児向けワークショップの実践」講師(10月28日)

＜雑誌・新聞等寄稿＞

- ・太田紗世「農村にも機械文明の波」初めての自動車」①』『静岡新聞』(夕刊)、9月6日。
- ・太田紗世「雄大で懐かしい原風景」5月:せっけんを作り、羊を洗う」②』『静岡新聞』(夕刊)、9月7日。
- ・太田紗世「作業に勤しむ人々の姿」アップル・バター作り」③』『静岡新聞』(夕刊)、9月8日。
- ・太田紗世「自給自足を彩る甘味料」シュガリング・オフ」④』『静岡新聞』(夕刊)、9月9日。
- ・太田紗世「青一色、幻想的な「聖夜」来年までさようなら」⑤』『静岡新聞』(夕刊)、9月10日。
- ・太田紗世「彫技と彩色の極み 平野富山「羽衣舞」アートの扉 3」『毎日新聞』、3月14日。

●大石沙織

＜館外での活動＞

- ・静岡市歴史博物館の開館準備に伴う鉄舟寺作品調査への協力(10月27日、28日)
- ・静岡市歴史博物館の開館準備に伴う個人宅作品調査への協力(12月18日)

＜雑誌・新聞等寄稿＞

- ・「特集／新型コロナウイルスと展覧会」『浮世絵芸術』182巻、2021年7月20日、58-59頁、国際浮世絵学会

●安岡真理

＜雑誌・新聞等寄稿＞

- ・安岡真理「行き交う美と技 凝縮「東海道五十三次ひとめ図」アートの扉 2」『毎日新聞』、2月21日。

●深尾茅奈美

＜研究発表・論文等＞

・論文「カミーユ・ピサロ作《小川に足を浸ける女》に関する考察—自然回帰思想からの影響と画家の芸術理念を中心に—」『日仏美術学会会報』第40号、2021年11月30日、69-90頁。

＜雑誌・新聞等寄稿＞

・深尾茅奈美「息のむ一瞬探して」あす開幕『中日新聞』静岡版、11月19日。

・深尾茅奈美「作品紹介1 戸外制作ブームに 第1章 コローと19世紀風景画の先駆者たち」『中日新聞』静岡版、12月1日。

・深尾茅奈美「作品紹介2 空や水面を繊細に 第2章 バルビゾン派」『中日新聞』静岡版、12月2日。

・深尾茅奈美「作品紹介3 エッチング再流行 第3章 画家＝版画家の誕生」『中日新聞』静岡版、12月4日。

・深尾茅奈美「作品紹介4 海景画家名を成す 第4章 ウジェーヌ・ブーダン」『中日新聞』静岡版、12月5日。

・深尾茅奈美「作品紹介5 真摯に自然を描く 第5章 印象主義の展開」『中日新聞』静岡版、12月7日。

・深尾茅奈美「コロー×美術 因習を離れ感性に重き」『中日新聞』静岡版、1月9日。

＜その他＞

・エッセイ「企画展「風景画のはじまり コローから印象派へ」を巡って」『ローカルから見るヨーロッパ—国際関係学を学ぶ人へ』、静岡県立大学、2022年3月30日、43-44頁。

◆教育普及プログラム企画・制作(担当：太田・安岡)

・「しずびチビッコプログラム」オリジナルプログラム(計3種)

・「しずびオープンアトリエ」オリジナルプログラム(計1種)

夏：「別摺(べつずり)」でつくる山のポストカード」

・「プレゼントワークショップ」(計3種)

vol.33「母の日だ！親子でプレゼントをつくろう」

vol.34「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」

vol.35「クリスマスの準備をしよう！」

その他ワークショップは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。

5-2 刊行物等

1)「浜松野外美術展(1981-1987)アーカイブ」目録公開

概要：2018年度に開催した「Shizubi Project 7 アーカイヴ／1980年代—静岡」(会期：2019年1月12日—3月24日)で紹介した浜松野外美術展(1980-1987)に関する資料の整理、目録(計 281件、1095点)を9月30日に当館ホームページ上で公開した。



5-3 博物館実習

以下の要領で学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を行った。

対象：博物館法施行規則第一条に定められた博物館に関する科目の単位を履修済みまたは履修中で、以下の要件を満たす者。ただし学芸員資格を既に取得済みの者は除く。

- ①美学・美術史または美術教育専攻であること。(美術館で研修する理由がある者)
- ②静岡県内在学者もしくは県内に帰省先があること。 ③パソコンのメールアドレスを持っていること。(携帯メールは不可)
- ④学部3年生以上であること。(4年生を優先する)

実習期間：8月9日(月・祝)、11日(水)－14日(土) 計5日間

実習場所：当館、清水文化会館マリナート

受入大学・人数：静岡文化芸術大学、京都芸術大学 計2大学5人

実習日	時 間	実 施 内 容
9日(月・祝)	10:10－11:00	ガイダンス・職員紹介・施設案内 静岡市美術館の特色について(講義)
	11:10－12:00	開催中の展覧会について＜展示演出、関連事業の立案など＞(講義)
	13:00－13:50	展覧会の組み立て方＜展覧会ができるまでの流れ、現代美術の展示など＞(講義)
	14:00－15:50	開催中展覧会・関連イベント(スライドトーク)の見学(実習)
11日(水)	9:10－12:00	収蔵庫整理、清掃(実習)※於：清水文化会館マリナート
	13:00－13:50	静岡市美術館の広報活動について(講義)
	14:00－14:50	日本美術の調査と展示＜作品調査の実際、日本美術の展示＞(講義)
12日(木)	10:10－10:40	自記温湿度計の取り扱い(実習)
	10:45－12:40	図書整理作業(実習)
	13:50－14:40	静岡市美術館の教育普及活動について(講義)
	14:50－16:00	オープンアトリエ体験(実習)
13日(金)	10:10－12:00	作品(掛軸・卷子)の取扱いと点検・調書作成について(実習)
	13:00－13:50	美術品の展示・保存環境について(講義)
	14:00－15:50	収蔵庫内の清掃＜収納棚アルコール消毒＞(実習)
14日(土)	10:10－11:00	美術館とメディアについて(講義)
	11:10－12:00	館長講話(講義)
	14:00－15:50	「これまでの実習で学んだこと」(実習生による発表)

5-4 視察等受入

令和3年度は、視察等受入を行わなかった。

6. 収蔵品・図書等

6-1 収蔵品・画像貸出

令和3年度は、収蔵品・画像貸出は行わなかった。

6-2 図書等

令和3年度図書等受入数

	購入	寄贈	合計
カタログ	4冊	306冊	310冊
雑誌	30冊	56冊	86冊
一般図書・その他	45冊	358冊	403冊
合計	79冊	720冊	799冊

7. 広報活動

7-1 広報制作物

1) 年間スケジュール

令和3(2021)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作し、ウェブサイトに掲載した。

＜仕様＞紙：A2 マット 110kg

サイズ・数量：210×396mm（仕上 210×99mm） 45,000部(日本語版)、500部(英語版)

加工：観音折り(四つ折り)加工

印刷：オフセット印刷(日本語版)、オンデマンド印刷(英語版)

◆日本語版年間スケジュール



表紙



表面



中面

◆英語版年間スケジュール



表紙



表面



中面

2) ワークショップシリーズ年間スケジュール

令和3(2021)年度ワークショップシリーズ年間スケジュールを下記のとおり制作した。

＜仕様＞紙：片艶晒クラフト(キャピタルラップ) 86kg

サイズ・数量：A4(仕上A5) 20,000部

加工：二つ折り加工



表紙



表面



中面

7-2 ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。ブログ、Twitter、Instagramも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。

ウェブサイト構成：(<https://www.shizubi.jp>)

- 展覧会
 - ・開催中の展覧会
 - ・これからの展覧会
 - ・年間スケジュール
 - ・展覧会アーカイブ
- イベント
 - ・これからのイベント
 - ・ワークショップシリーズ年間スケジュール
 - ・イベントアーカイブ
- 来館案内
 - ・基本情報・開館カレンダー
 - ・アクセス
 - ・駐車場
 - ・ご来館のお客様へ/Q&A
 - ・ショップ&カフェ
 - ・学校・団体鑑賞
- 美術館概要
 - ・静岡市美術館について
 - ・館長挨拶
 - ・施設概要
 - ・ロゴについて
 - ・活動記録
 - ・静岡市美術館運営協議会
- その他(リンク)
 - ・ブログ(<https://www.shizubi.jp/blog>)
 - ・Twitter(https://twitter.com/shizubi_jp)
 - ・Instagram(https://instagram.com/shizubi_jp)
 - ・YouTube(<https://www.youtube.com/channel/UCDprmpLHarg33-WQNvyZPAg>)

アクセス数：453,019件(1日平均 約1,241件)



パソコン版ホームページ



スマートフォン版ホームページ

7-3 施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

1)新聞

- ・山本香瑞子「溶け合う和洋、今昔 竹久夢二「草に憩う女」アートの扉 1」『毎日新聞』(夕刊)、1月31日。
- ・安岡真理「行き交う美と技 凝縮「東海道五十三次ひとめ図」アートの扉 2」『毎日新聞』、2月21日。
- ・太田紗世「彫技と彩色の極み 平野富山「羽衣舞」アートの扉 3」『毎日新聞』、3月14日。

2)雑誌等

- ・「施設紹介」『美術資料 静岡Re+』、4月25日。
- ・「美術館ロゴマーク紹介」『美術1』、5月1日。
- ・「美術館ロゴマーク紹介」『高校美術1』、5月1日。
- ・「施設紹介」『食べる買う見る遊ぶ泊まる 静岡駅周辺のご案内』、7月17日。
- ・「施設紹介」『ぴあMOOK すごい美術館 2021-2022』、7月30日。
- ・「施設紹介」『日経トレンディ No.487 日経おとなのOFF 2022年絶対に見逃せない美術展』、12月7日。

3)ウェブサイト(媒体名のみ記載)

「DK SELECT進化する暮らし」

8. 管理運営

8-1 利用者数

1)利用者数(月別) (単位:人)

	展覧会 観覧者	展覧会関連事業 参加者	交流事業 参加者	連携事業・その他の事業 参加者	事業参加者 計	総入館者
4月	2,894	73	0	27	2,994	10,673
5月	7,129	200	127	203	7,659	17,189
6月	4,615	101	18	157	4,891	13,179
7月	5,287	263	0	146	5,696	13,666
8月	6,487	136	167	3,713	10,503	16,663
9月	3,297	45	0	25	3,367	11,317
10月	9,047	196	121	59	9,423	20,442
11月	6,587	137	683	32	7,439	16,688
12月	5,493	295	11,345	15	17,148	14,748
1月	7,109	136	18	112	7,375	16,162
2月	7,093	149	0	66	7,308	16,228
3月	12,122	190	0	37	12,349	24,320
計	77,160	1,921	12,479	4,592	96,152	191,275
月平均	6,430	160	1,040	383	8,013	15,940

2)利用者数 事業別

展覧会名	実施期間	入場者等
キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	4月15日～6月6日 (開館46日間)	12,766人 (278人/日)
没後70年 吉田博展	6月19日～8月29日 (開館62日間)	13,646人 (220人/日)
静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 一素敵な100年人生	9月14日～11月7日 (開館48日間)	16,437人 (342人/日)
ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	11月20日～1月23日 (開館51日間)	15,096人 (296人/日)
平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	2月5日～3月27日 (開館44日間)	19,215人 (437人/日)
展覧会 観覧者 計		77,160人
普及事業参加者 (展覧会関連事業参加者+交流事業参加者+連携事業・その他事業参加者)		18,994人
事業参加者 総計 (展覧会観覧者+普及事業参加者)		96,154人
総入館者数(エントランス入口自動カウンター集計数)	4月1日～3月31日	191,275人

3)利用者数(事業別詳細)

事業 区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会事業	展覧会		計5本 77,160人		
	キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	4/15-6/6 (計46日間)	20,000	12,766	63.8%
	没後70年 吉田博展	6/19-8/29 (計62日間)	20,000	13,646	68.2%
	静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 一素敵な100年人生	9/14-11/7 (計48日間)	25,000	16,437	65.7%
	ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コロワから印象派へ	11/20-1/23 (計51日間)	23,000	15,096	65.6%
	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	2/5-3/27 (計44日間)	25,000	19,215	76.9%
展覧会 関連事業	ミュージアム教室		計801人(41団体/41回)		
	ミュージアム教室(キューガーデン展)	4/15-6/6 (全5回)	111(5団体/5回)		
	ミュージアム教室(吉田博展)	6/19-8/29 (全9回)	208(9団体/9回)		
	ミュージアム教室(グランマ・モーゼス展)	9/14-11/7 (全9回)	122(9団体/9回)		
	ミュージアム教室(ランス展)	11/20-1/23 (全12回)	214(12団体/12回)		
	ミュージアム教室(平等院展)	2/5-3/27 (全6回)	146(6団体/6回)		
	その他展示解説		計282人(10団体/10回)		
	展示解説(キューガーデン展)	4/15-6/6 (全3回)	71(3団体/3回)		
	展示解説(吉田博展)	6/19-8/29 (全2回)	54(2団体/2回)		
	展示解説(グランマ・モーゼス展)	9/14-11/7 (全2回)	37(2団体/2回)		
	展示解説(ランス展)	11/20-1/23 (全2回)	102(2団体/2回)		
	展示解説(平等院展)	2/5-3/27 (全1回)	18(1団体/1回)		
	キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート		計4本 159人		
	講演会 「植物を愛し、キューでの日々を愉しんだ王妃シャーロット」	4/25	50	57	114.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	5/1、5/29	-	102	-
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 科学教室「研究者と学ぼう！植物の仲間わけ」	5/30	※静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業に記載		
	ふじのくに連携 ボタニカルアート講座(水彩画)	4/29	※その他連携事業に記載		
	没後70年 吉田博展		計3本 170人		
	講演会①「吉田博の木版画の魅力」	7/3	50	47	94.0%
	講演会②「吉田博の山旅」	7/31	50	40	80.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	7/17、8/9	-	83	-
	静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 一素敵な100年人生		計3本 123人		
	講演会「グランマ・モーゼスの絵を読む」	9/25	50	45	90.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	10/9	-	40	-
	当館学芸員による親子スライドトーク	10/16	-	38	-

事業 区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展 覧 会 関 連 事 業	ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ		計4本 211人		
	講演会①「風景画の誕生とランス美術館」	12/5	50	44	88.0%
	講演会②「印象派による戸外制作の意味～ヴァランシエンヌから、コロー、印象派へ～」	12/12	50	40	80.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	12/26、1/15	-	77	-
	2020しずおか文化プロジェクト 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 静岡・室内楽フェスティバル2021 ミュージアム・コンサート「ドビュッシーとラヴェル」	11/28	50	50	100.0%
	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰		計3本 175人		
	講演会①「平等院に伝わる美といのちの軌跡」	2/5	50	47	94.0%
	講演会②「平等院鳳凰堂の科学調査」	3/19	50	43	86.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	2/19、3/6	-	85	-
交 流 事 業	「静岡市美術館開館10周年記念」事業		計2本 12,000人		
	鈴木康広 まばたきの葉 未来の待ち合わせ場所	11/30-12/19 (計20日間)	-	11,949	-
	「鈴木康広 まばたきの葉 未来の待ち合わせ場所」アーティストトーク	12/19	50	51	102.0%
	参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう!」	10/2 (中止)	-	中止(延期)	-
	Shizubiシネマアワー		計4本 197人		
	Shizubiシネマアワー vol.27「語りかける庭」 ①『フラワーショウ』	5/15	50	51	102.0%
	Shizubiシネマアワー vol.27「語りかける庭」 ②『シェイクスピアの庭』	5/16	50	44	88.0%
	Shizubiシネマアワー vol.28「日々を、つむぐ。」 ①『人生フルーツ』	10/30	50	50	100.0%
	Shizubiシネマアワー vol.28「日々を、つむぐ。」 ②『アイリス・アプフェル94歳のニューヨーカー』	10/31	50	52	104.0%
	しずびオープンアトリエ		計1本 167人		
	「別摺」でつくる山のポストカード	8/5-8/15 (計10日間・全20回)	120	167	139.2%
	縹緗彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう	2/12-3/13 (中止)	120	中止	-
	しずびチビッコプログラム		計3本 55人		
	「キューガーデン展」	5/22 (全2回)	16	18	112.5%
	「吉田博展」	8/21 (中止)	16	中止	-
	「グランマ・モーゼス展」	10/23 (全2回)	16	19	118.8%
	「ランス展」	1/8 (全2回)	16	18	112.5%
	「平等院展」	3/20 (中止)	16	中止	-
	暦とあそぶワークショップ				
	vol.20「節分の準備をしよう!」	1/29 (中止)	15	中止	-
	vol.21「ひな祭りの準備をしよう!」	2/23 (中止)	14	中止	-

事業 区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
交 流 事 業	プレゼントワークショップ		計4本 60人		
	vol.33「母の日だ!親子でプレゼントをつくろう」	5/9	14	14	100.0%
	vol.34「父の日だ!親子でプレゼントをつくろう」	6/20	14	18	128.6%
	vol.35「紙版画でクリスマスカードをつくろう!」子ども編	12/11	12	14	116.7%
	vol.35「紙版画でクリスマスカードをつくろう!」大人編	12/12	12	14	116.7%
	その他交流事業				
	夜店市	8/14-8/16 (中止)	-	中止	-
連 携 事 業	■生涯学習センターとの連携事業				
	展示解説付き講座		計2本		
	駿河生涯学習センター ママにお薦め!美術館へGO! 「グランマ・モーゼス展」	10/20	※その他展示解説に含む		
	高齢者学級みのり大学小鹿学級 展示解説「ランス美術館展」	11/30	※その他展示解説に含む		
	しずび出前講座(講義)※当館学芸員が講師として参画		計11本 512人		
	西部生涯学習センター 「英国キューガーデンとボタニカルアート」	5/12、5/19	30	57	190.0%
	南部生涯学習センター 「英国キューガーデンとボタニカルアート」	5/18、5/25	60	50	83.3%
	北部生涯学習センター 「判じ絵-江戸を絵解く」	5/28	20	19	95.0%
	高齢者学級みのり大学南部学級 「江戸絵画でめぐる東海道の旅」	6/23	100	52	52.0%
	高齢者学級みのり大学長田学級 「武将が愛した名刀」	6/25	100	58	58.0%
	藁科生涯学習センター 「風景画の巨匠 吉田博の冒険人生」	6/29、7/6	30	40	133.3%
	高齢者学級みのり大学藁科学級 「絵本の絵を読む」	7/8	60	44	73.3%
	高齢者学級みのり大学東部学級 「江戸絵画でめぐる東海道の旅」	7/13	82	61	74.4%
	高齢者学級みのり大学美和学級 「江戸絵画でめぐる東海道の旅」	1/12	65	38	58.5%
	高齢者学級みのり大学西部学級 「竹久夢二と大正期の日本画」	1/20	77	57	74.0%
	西奈生涯学習センター 「王朝の美・平等院鳳凰堂」	2/18、2/25	20	36	180.0%
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)		計2本 10人		
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 科学教室「研究者と学ぼう!植物の仲間わけ」	5/30	16	10	62.5%
	2020しずおか文化プロジェクト 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 静岡・室内楽フェスティバル2021 ミュージアム・コンサート「ドビュッシーとラヴェル」	11/28	※展覧会関連事業に記載		
	2020しずおか文化プロジェクト		計1本		
	2020しずおか文化プロジェクト 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 静岡・室内楽フェスティバル2021 ミュージアム・コンサート「ドビュッシーとラヴェル」	11/28	※展覧会関連事業に記載		
	その他連携事業		計2本 404人		
	Kids Art Project Shizuoka	4/1-3/31	-	389	-
	ふじのくに連携 ボタニカルアート講座(水彩画)	4/29	15	15	100.0%

事業 区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
その他事業	その他事業		計3本 3,666人		
	静岡市文化活動振興事業 特集展示 竹久夢二展	8/17-8/22 (計6日間)	2,400	3,661	2
	静岡市文化活動振興事業 静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山-清水が生んだ彩色木彫の名匠」 【第1期】現代的作品-初期から晩年まで 【第2期】稚児びな一挙公開 【第3期】平野富山と平櫛田中	【第1期】7月-10月 【第2期】11月-2月 【第3期】3月-6月	-	-	-
	博物館実習	8/9-8/14 (計5日間)	-	5	-
	計		117,176	96,152	82.1%

8-2 過去展覧会一覧

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成22(2010)年度		計3本	132日 93,654人
1	開館記念展<Ⅰ> ボーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ	10月2日(土)～11月28日(日) <開館51日間>	38,695人 (759人/日)
2	開館記念展<Ⅱ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 家康と慶喜－徳川家と静岡	12月11日(土)～1月30日(日) <開館42日間>	34,424人 (820人/日)
3	開館記念展<Ⅲ> 棟方志功 祈りと旅	2月11日(金・祝)～3月27日(日) <開館39日間>	20,535人 (527人/日)
●平成23(2011)年度		計5本	261日 131,904人
1	ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新	4月9日(土)～6月26日(日) <開館69日間>	16,395人 (238人/日)
2	没後150年 歌川国芳展	7月9日(土)～8月21日(日) <開館38日間> ※前期：7月9日(土)～31日(日) 後期：8月2日(火)～21日(日)	30,404人 (801人/日)
3	開館1周年記念展<Ⅰ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガントーニ ー光と山ー	9月3日(土)～10月23日(日) <開館44日間>	17,806人 (405人/日)
4	開館1周年記念展<Ⅱ> レオナルド・ダヴィンチ美の理想	11月3日(木・祝)～12月25日(日) <開館46日間>	53,136人 (1,156人/日)
5	竹久夢二と静岡ゆかりの美術 (前期：中川雄太郎と静岡の創作版画の世界 後期：平野富山“彩色木彫”の美)	1月7日(土)～3月25日(日) <開館64日間> ※前期：1月7日(土)～2月12日(日) 後期：2月18日(土)～3月25日(日)	14,163人 (222人/日)
●平成24(2012)年度		計6本	258日 100,862人
1	森村泰昌モリエナーレ まねぶ美術史	4月7日(土)～6月10日(日) <開館57日間>	7,976人 (140人/日)
2	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業 七夕の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる	6月23日(土)～8月19日(日) <開館51日間> ※前期：6月23日(土)～7月22日(日) 後期：7月24日(火)～8月19日(日)	10,929人 (214人/日)
3	フィンランドのくらしとデザイン－ムーミンが住む森の生活	9月1日(土)～10月8日(月・祝) <開館38日間>	41,258人 (1,086人/日)
4	ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待	10月27日(土)～12月16日(日) <開館44日間>	12,016人 (273人/日)
5	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展	1月2日(水)～2月11日(月・祝) <開館36日間> ※前期：1月2日(水)～1月20日(日) 後期：1月22日(火)～2月11日(月・祝)	11,256人 (313人/日)
6	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界	2月23日(土)～3月31日(日) <開館32日間>	17,427人 (545人/日)
●平成25(2013)年度		計5本	260日 156,594人
1	藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ	4月20日(土)～6月23日(日) <開館57日間>	22,451人 (393人/日)
2	静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オーディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから	6月29日(土)～8月25日(日) <開館51日間>	16,907人 (332人/日)
3	はじめての美術 絵本原画の世界2013	9月14日(土)～10月27日(日) <開館38日間>	44,385人 (1,168人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜	11月2日(土)～12月15日(日) <開館38日間> ※前期：11月2日(土)～11月24日(日) 後期：11月26日(火)～12月15日(日)	15,260人 (402人/日)
5	テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展	1月2日(木)～3月30日(日) <開館76日間>	57,591人 (758人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成26(2014)年度		計6本 254日	155,028人
1	巨匠の眼 川端康成と東山魁夷	4月12日(土)～6月1日(日) ＜開館44日間＞	15,475人 (352人/日)
2	読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年 法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－	6月14日(土)～7月27日(日) ＜開館38日間＞	26,566人 (699人/日)
3	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 ～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～	8月4日(月)～9月23日(火・祝) ＜開館48日間＞	66,773人 (1,391人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年記念事業 国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	10月4日(土)～11月24日(月・祝) ＜開館45日間＞	20,353人 (452人/日)
5	ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗なる150年	12月6日(土)～1月25日(日) ＜開館41日間＞	16,034人 (391人/日)
6	没後100年 小林清親展 文明開化の光と影をみつめて	2月7日(土)～3月22日(日) ＜開館38日間＞	9,827人 (259人/日)
●平成27(2015)年度		計6本 254日	155,806人
1	静岡市美術館開館5周年記念 大原美術館展 名画への旅	4月18日(土)～5月31日(日) ＜開館39日間＞	32,133人 (824人/日)
2	青磁のいま－受け継がれた技と美 南宋から現代まで	6月13日(土)～8月16日(日) ＜開館56日間＞	13,907人 (248人/日)
3	錦絵誕生250年 フィラデルフィア美術館浮世絵名品展 春信一番！写楽二番！	8月23日(日)～9月27日(日) ＜開館36日間＞	16,475人 (458人/日)
4	静岡市美術館開館5周年記念 ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと	10月10日(土)～11月23日(月・祝) ＜開館39日間＞	41,836人 (1,073人/日)
5	静岡市美術館開館5周年記念 静岡市立芹沢銈介美術館・静岡市美術館共同企画 芹沢銈介生誕120年記念展 しあわせの色 たのしい模様	12月5日(土)～1月11日(月・祝) ＜開館27日間＞	7,502人 (278人/日)
6	スター・ウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。	1月23日(土)～3月27日(日) ＜開館57日間＞	43,953人 (771人/日)
●平成28(2016)年度		計6本 254日	167,547人
1	没後20年 ルーシー・リー展	4月9日(土)～5月29日(日) ＜開館45日間＞	17,157人 (381人/日)
2	伊豆市所蔵近代日本画コレクション展 大観・靱彦・龍子らと修善寺	6月7日(火)～7月10日(日) ＜開館30日間＞	6,592人 (220人/日)
3	エッシャーの世界	7月17日(日)～8月28日(日) ＜開館37日間＞	36,297人 (981人/日)
4	ランス美術館展 美しきフランス バロックからフジタへ	9月10日(土)～10月30日(日) ＜開館45日間＞	16,154人 (359人/日)
5	高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。 スタジオジブリ・レイアウト展	11月19日(土)～2月5日(日) ＜開館65日間＞	79,378人 (1,221人/日)
6	夢二と京都の日本画	2月18日(土)～3月26日(日) ＜開館32日間＞	11,969人 (374人/日)
●平成29(2017)年度		計5本 244日	111,134人
1	アルバレス・ブラボ写真展 －メキシコ、静かなる光と時	4月8日(土)～5月28日(日) ＜開館45日間＞	6,208人 (138人/日)
2	没後150年 坂本龍馬	7月1日(土)～8月27日(日) ＜開館51日間＞	50,397人 (988人/日)
3	日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン	9月9日(土)～11月12日(日) ＜開館56日間＞	16,965人 (303人/日)
4	ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	11月23日(木・祝)～1月28日(日) ＜開館54日間＞	25,503人 (472人/日)
5	駿河の白隠さん	2月10日(土)～3月25日(日) ＜開館38日間＞	12,061人 (317人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成30(2018)年度		計5本	258日 83,257人
1	いつだって猫展	4月7日(土)～5月20日(日) ＜開館39日間＞	18,404人 (472人/日)
2	ミュシャ展 ～運命の女たち～	6月2日(土)～7月15日(日) ＜開館38日間＞	28,579人 (752人/日)
3	ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生	7月28日(土)～9月24日(月・祝) ＜開館51日間＞	10,871人 (213人/日)
4	テレビ静岡開局50周年記念 フランス宮廷の磁器 セーヴル、創造の300年	10月6日(土)～12月16日(日) ＜開館62日間＞	15,262人 (246人/日)
5	起点としての80年代	1月5日(土)～3月24日(日) ＜開館68日間＞	10,141人 (149人/日)
●平成31/令和元(2019)年度		計5本	258日 105,481人
1	小倉遊亀と院展の画家たち展 滋賀県立近代美術館所蔵作品による	4月6日(土)～5月26日(日) ＜開館44日間＞	12,009人 (273人/日)
2	オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵 メアリー・エインズワース浮世絵コレクション ～初期浮世絵から北斎・広重まで	6月8日(土)～7月28日(日) ＜開館44日間＞	22,589人 (513人/日)
3	印象派への旅 海運王の夢 パレル・コレクション	8月7日(水)～10月20日(日) ＜開館65日間＞	25,461人 (392人/日)
4	Daiichi-TV開局40周年記念 奇蹟の芸術都市バルセロナ展	11月15日(金)～1月19日(日) ＜開館55日間＞	21,895人 (398人/日)
5	不思議の国のアリス展	2月1日(土)～3月29日(日) ＜開館50日間＞	23,527人 (470人/日)
●令和2(2020)年度		計5本	219日 109,088人
1	日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリック めぐるジャポニスム	4月11日(土)～4月19日(日) ＜開館8日間＞	578人 (72人/日)
2	静岡市美術館開館10周年記念 東海道之美 駿河への旅	※延期	－
3	静岡市所蔵品 特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に	6月17日(水)～7月19日(日) ＜開館29日間＞	2,815人 (97人/日)
4	2020しずおか文化プロジェクト 日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ショパンー200年の肖像	8月1日(土)～9月22日(火・祝) ＜開館47日間＞	17,774人 (378人/日)
5	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年 絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	10月3日(土)～11月29日(日) ＜開館50日間＞	16,196人 (324人/日)
5	静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	12月19日(土)～3月31日(水) ＜開館85日間＞	71,725人 (844人/日)
●令和3(2021)年度		計5本	251日 77,160人
1	キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	4月15日(木)～6月6日(日) ＜開館46日間＞	12,766人 (278人/日)
2	没後70年 吉田博展	6月19日(土)～8月29日(日) ＜開館62日間＞	13,646人 (220人/日)
3	静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 一素敵な100年人生	9月14日(火)～11月7日(日) ＜開館48日間＞	16,437人 (342人/日)
4	ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	11月20日(土)～1月23日(日) ＜開館51日間＞	15,096人 (296人/日)
5	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	2月5日(土)～3月27日(日) ＜開館44日間＞	19,215人 (437人/日)

8-3 静岡市美術館運営協議会

(公財)静岡市文化振興財団では、当館の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、平成23年度より静岡市美術館運営協議会を設置している。年2回の開催を基本とし、令和3年度末現在まで計20回開催した。

【静岡市美術館運営協議会委員】(敬称略・50音順)

氏名	肩書
●第1期【平成23年6月19日－平成25年6月18日】	
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
小澤 豊	静岡市校長会(図工美術部会長・観山中学校校長)
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
金原宏行	豊橋市美術館館長
小林 忠	学習院大学名誉教授・前千葉市美術館長
小針由紀隆	静岡県立美術館学芸部長
谷 新	宇都宮美術館館長・美術評論家
●第2期【平成25年6月19日－平成27年6月18日】	
岩城見一	前京都国立近代美術館館長・京都大学名誉教授
小澤 豊	静岡市校長会(図工美術部会長・観山中学校校長) ＜～平成26年4月1日＞
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
金原宏行	豊橋市美術館館長
小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
谷 新	宇都宮美術館館長・美術評論家
増田安由	静岡市校長会(図工美術部会長・富士見小学校校長) ＜平成26年4月2日～＞
●第3期【平成27年6月19日－平成29年6月18日】	
天野一夫	豊田市美術館チーフキュレーター
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	豊橋市美術館館長
小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会 (静岡紺屋町名店街理事長)
増田安由	静岡市校長会 (図工美術部会長・富士見小学校校長)

氏名	肩書
●第4期【平成29年6月19日－令和元年6月18日】	
片瀬恵子	静岡市校長会 (図工美術部会長・清水庵原小学校校長)
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
金原宏行	前豊橋市美術館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡中央商店街連合会 (静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	豊田市美術館館長
●第5期【令和元年6月19日－令和3年6月18日】	
大石英之	静岡市校長会(図工美術部会長・中田小学校校長) ＜～令和2年3月31日＞
入口強志	静岡市校長会(図工美術部副会長・清水両河内中学校教頭) ＜令和2年5月25日～令和3年3月31日＞
岩崎信男	静岡市校長会(図工美術部会長・長田西中学校校長) ＜令和3年4月22日～＞
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	前豊橋市美術館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会 (静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	豊田市美術館館長
●第6期【令和3年6月19日－】	
岩崎信男	静岡市校長会 (図工美術部会長・長田西中学校校長)
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	元豊橋市美術館館長・元常葉美術館館長 元常葉学園大学教授
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	ベルナール・ビュフェ美術館館長・元静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授・公益財団法人平野美術館評議員
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長・フェルケール博物館友の会会長
富田 章	公益財団法人東日本鉄道文化財団専務理事・東京ステーションギャラリー館長
服部 功	静岡市中央商店街連合会 (静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	前豊田市美術館館長・元愛知県立美術館館長

※委員の肩書については、各期就任時のものを記載した。

静岡市美術館運営協議会設置要綱

(目的)

第1条 公益財団法人静岡市文化振興財団(以下「当法人」という。)は、静岡市美術館(以下「美術館」という。)の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、静岡市美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(役割)

第2条 協議会は、美術館の運営に関し美術館長(以下「館長」という。)の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。

(委員)

第3条 協議会の委員の定数は、10人とする。

2 委員は、当法人の専務理事が選定し、理事長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、任期満了後においても、後任者が就任するまで在任する。

6 委員の氏名等は公表する。

(委員の任期の起算)

第4条 協議会委員の任期は、就任の日から起算する。ただし、任期満了による選任が、任期満了の日前に行われたときは、新たな委員の任期は、前任者の任期満了の日の翌日から起算する。

(委員の辞任)

第5条 委員が辞任しようとするときは、理事長に届け出るものとする。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に会長及び副会長を置き、委員会において互選する。

2 会長は、会議の議長となり、協議会の会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、館長からの求めに応じ、会長が随時招集する。

2 委員の辞職又は任期満了に伴い会長及び副会長がともに欠けたときは、館長が協議会を招集する。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、委員に対し、開催日の2週間前までに、書面等により日時、場所及び議題その他必要な事項を通知しなければならない。ただし、委員全員の同意があるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

5 会長は、必要と認めたときは協議会に諮り、関係者に参考人として会議への出席を求め、資料の提供、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

6 会議当日に会長及び副会長とともに事故があるとき、又は会長及び副会長がともに欠けたときは、あらかじめ会長が指定した委員又は館長が指名した委員がその職務を代理する。

(議事録)

第8条 会議の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。

2 前項の議事録は館長が保管し、保存年限は当法人文書取扱規程の定めるところによる。

(庶務)

第9条 協議会の事務は、静岡市美術館総務課において処理する。

2 美術館の職員は、協議会その他の事務処理を通じて知り得た事項を他に漏らしてはならない。

(補足)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月19日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

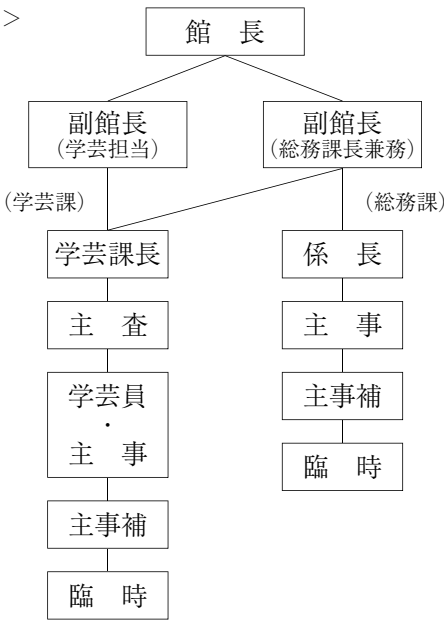
この要綱は、平成25年10月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

8-4 組織図・職員名簿

<組織図>



<職員名簿>(令和3年度)

館 長	田中 豊稲
副館長(総務課長兼務)	矢澤 嘉章
副館長(学芸担当)	高市 純行
(総務課)	
係 長	青木 直美
主 事	池ヶ谷 志帆
主事補	寺崎 薫
臨 時	古川 誠二郎
(学芸課)	
学芸課長	山本 香瑞子(日本近代美術)
主 査	高橋 哲也(日本美術)
主 査	伊藤 鮎(西洋美術)
学芸員	小川 かい(西洋美術)
学芸員	太田 紗世(教育普及)
学芸員	大石 沙織(日本美術)
学芸員	安岡 真理(教育普及)
学芸員	深尾 茅奈美(西洋美術)
主 事	大庭 千恵子(広報)
主事補	岡田 牧(広報)
臨 時	軍司 しずか(-令和3年9月)
	岩本 成美(令和3年10月-)

8-5 条例・施行規則

○静岡市美術館条例

平成21年7月16日
条例第50号

(設置)

第1条 静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

名称	位置
静岡市美術館	静岡市葵区紺屋町17番地の1

(事業)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術文化に係る展示会の開催に関すること。
 - (2) 美術文化の教育及び普及に関すること。
 - (3) 美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
 - (4) 美術文化に係る調査及び研究に関すること。
 - (5) 美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
 - (6) 美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
 - (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業(開館時間)
- 第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(当日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日)
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(入館の制限)

第5条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館の管理上支障があると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。

(損害賠償の義務)

第6条 美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第7条 美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するものに行わせるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第8条 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。

(指定管理者の指定の基準)

第9条 市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するもののうちから、最も効率的かつ

適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
- (2) 事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
- (4) 管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。

(指定管理者の指定等の公告)

第10条 市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 第2条に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務(指定管理者の原状回復の義務)

第12条 指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。

(平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。)

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日
規則第103号

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡市美術館条例(平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入館者の遵守事項)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
- (4) 美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (5) 許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
- (6) 所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
- (7) 所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
- (8) 喫煙をしないこと。
- (9) 許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。

(指定管理者の指定の申請書類)

第3条 条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。

- (1) 静岡市美術館事業計画書(様式第2号)
- (2) 静岡市美術館事業計画に関する収支予算書(様式第3号)
- (3) 定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
- (4) 役員名簿
- (5) 経営(事業)状況に関する書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類(協定の締結)

第4条 市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 市が支払うべき管理費用に関する事項
- (3) 管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年 月 日

(あて先)静岡市長

所在地(法人以外の団体にあっては、その代表者の住所)

申請者 名称

代表者氏名

印

電話

静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画書

事業計画の理念・方針

実施事業の概要(事業の構成及び年間計画表)

実施体制図

特記事項(効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等)

様式第3号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
支出			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円

8-6 施設・建築概要

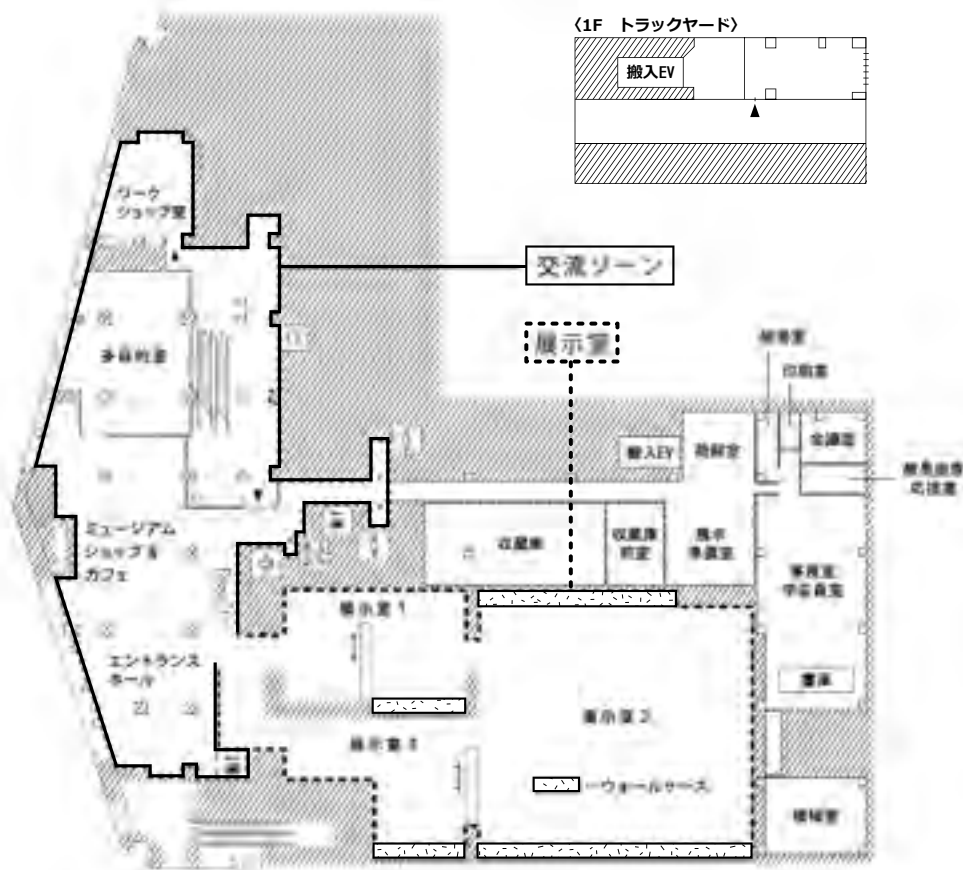
所在地：静岡市葵区紺屋町17番地の1号 葵タワー3階
設置者：静岡市
構造：S造（一部RC・SRC造）
内装設計：株式会社丹青研究所
内装建築工事：株式会社木内建設
延床面積：3,393.22㎡
館内施設：
（展示関係）展示室1：209.76㎡ 展示室2：713.03㎡
展示室3：204.17㎡
天井高：4.1m-4.5m
総壁面長（可動壁含む）：290m
床荷重：500kg/㎡
ウォールケース：総長60m（エアータイト型壁面ガラスケース）
（収蔵関係）収蔵庫：141㎡ 収蔵庫前室：46㎡
（管理関係）事務室・学芸員室：179㎡ 会議室31㎡
館長室兼応接室：19㎡
（交流ゾーン）エントランスホール：612㎡（天井高6m） 多目的室：180㎡（天井高5m） ワークショップ室：92㎡（天井高3m）
設備：
（電気）[本体ビル]3相3線6.6KV（地中引込方式）、非常用発電設備
（給排水）[本体ビル]給水：上水、雑用水2系統 排水：汚水、雑排水分流方式

（消火）N2ガス消火設備（展示収蔵エリア）、スプリンクラー（その他エリア）、消火用散水栓、消火器、自動火災報知設備
（空調）[本体ビル]ガス焚き吸収冷温水機及び排熱冷温水機（熱源）、4管方式により冷温水供給
[美術館]展示室：エアハンドリングユニット（床置きコンパクト型）
収蔵庫：空冷パッケージ（インバータ・セパレート型）エアコン
その他エリア：ファンコイルユニット

＜静岡市美術館整備費内訳(単位：円)＞

保留床購入費 (葵タワー再開発組合からの占有床購入経費)	¥ 2,461,200,000
内装・展示工事費	¥ 859,533,150
(内訳) 建築工事費	¥ 712,007,100
電気工事費	¥ 132,826,050
衛生工事費	¥ 14,700,000
整備費合計	¥ 3,378,123,924
(内訳) まちづくり交付金(国庫補助金)	¥ 1,180,000,000
市債(合併特例債)	¥ 1,571,200,000
一般財源	¥ 626,923,924

施設見取り図



令和3(2021)年度
静岡市美術館 年報 No.12
2023年2月 発行

編集・発行 静岡市美術館
〒420-0852
静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階
TEL 054-273-1515(代)
FAX 054-273-1518

印刷 株式会社アプライズ

©Shizuoka City Museum of Art 2023

